

# a&s

The Professional Magazine Providing Total Security Solutions

# JAPAN

www.asj-corp.jp Jan/Feb. 2016 no.50

## 新年号 恒例特集

# 50

2015  
SECURITY



**HD-TVI HYBRID DVR**  
4CH / 8CH / 16CH



## 機器を変えても全てがつながる。

### WEBGATE HYBRID DIGITAL VIDEO RECORDERS

**WEBGATE** × **TP** **TENPO**  
**PLANNING**

**EX-SDI POC HYBRID DVR**  
8CH / 16CH



本体希望小売価格 180,000円(税抜)

※ 掲載商品の価格には消費税は含まれていません。

### 手軽な「街頭セキュリティシステム」により 地域の安全安心な暮らしをサポート



※写真・イラストは設置イメージです

## 最大2台のネットワークカメラの画像と音声を SDメモリーカード※に記録

※パナソニック製 業務用SD(SDXC/SDHC)メモリーカードを使用

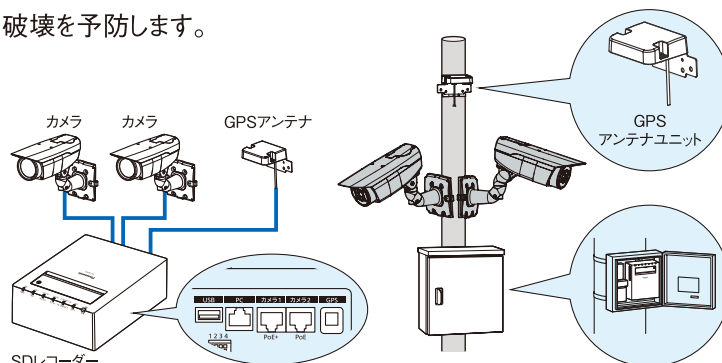
2つのSDメモリーカードスロットを搭載。64 GB SDXCメモリーカードを2枚使用し、シングル録画、HD解像度(1280×720)、5 fpsの場合、H.264動画を約2週間分記録可能です(カメラ1台接続時)。

停電時は電源バックアップ機能により記録データの破壊を予防します。

コンパクト設計で、電柱にも容易に設置可能です。

カメラへの給電機能、GPSによる自動時刻補正機能も搭載しています。

取り出したSDカード内に記録されている暗号化(AES暗号、鍵長：128 bit)記録されたデータは、専用ビューラーを用いて、パスワードを入力することで再生が可能です。専用ビューラーで改ざん検出を行うこともできます。



セキュリティ商品・システム情報をパナソニックのホームページでご覧いただけます。

監視・防犯システム

検索

ホームページからのお問い合わせは [https://sec.panasonic.biz/solution/info/i-PRO\\_SmartHD](https://sec.panasonic.biz/solution/info/i-PRO_SmartHD) スマートフォン用サイトは右記QRコードからアクセスできます



パナソニック システムネットワークス株式会社 セキュリティシステム事業部  
〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島4丁目1番62号



0120-878-410

受付：9時～17時30分  
(土・日・祝祭日は受付のみ)

※携帯電話・PHSからもご利用いただけます(お問合せの内容によっては、担当窓口をご案内する場合がございます)。

# 目次

ASK JAPAN Jan/Feb. 2016  
2016年1 - 2月号 No.50



## 表紙解説

機器を変えても全てがつながる 4-5

## 特集

Security 50 2015 14

## 連載

市場慧眼 よくわかるIPネットワーク 42  
SMAHome スマートセンサ・メーカーの多様な販売戦略 36  
現在進行形の5つの潮流 38

## イベント情報

エルモ・テクニカル・ソリューション・フェア 44  
SECUTECH x Solution 開催前情報 46  
展示会、プライベートショー日程 48

## キーマン・インタビュー

GENETEC社ピエール・ラースCEO 32-34

## 導入事例

東京都 浅草寺 50-51

## 新製品情報

ASK 52  
アツミ電気 52  
アクシスコミュニケーションズ 53  
ボッシュセキュリティシステムズ 57  
コレガ 54  
DYNACOLOR JAPAN 57  
ハイテクインター 54  
MOBOTIX JAPAN 55  
竹中エンジニアリング 56  
VOVOTEK 56

## 新製品欄

CCTV、入退管理、その他 58

産業ニュース 6、8、10、11  
技術ニュース 12、13  
読者の声 60

広告主名 (ABC順)	掲載ページ
ボッシュセキュリティシステムズ	表四
DAHUA TECHNOLOGY CO. LTD.,	1
フリーアシステムズジャパン	7
ジャバテル	43
IBS JAPAN	13
MERIT LILIN	11
MESSE FRANKFURT NEW ERA MEDIA	35、47
日本経済新聞社	49
パナソニックシステムネットワークス	表二
R.O.D	45
店舗プランニング	表一、4-5、9

## 次号案内

2016年 3/4月号 (3月4日発行予定)

特集

通信帯域の管理

製品特集

インタフォンとドア管理

業種別市場

教育機関(大学)

連載

市場慧眼

(誌面の都合上、変更になることがあります)

**a&sJAPAN** ©ASJ社 2016年 1-2月号 No.50  
The Professional Magazine Providing Total Security Solutions

発行人 小森堅司 印刷 八洲 DTP サンフィール

a&sJAPANは、Messe Frankfurt New Era Media発行のa&s International、a&sAsiaをはじめとするa&s各誌の独占翻訳権を特約して、発行するセキュリティ国際情報誌です。

ASJ合同会社

Advanced Security Journal LLC

東京都千代田区神田須田町1-7-1ウィン神田ビル10階 〒101-0041

電話：03-6206-0448 FAX：03-6206-0452

■広告に関するお問い合わせは  
E-mail：[komori@asj-corp.jp](mailto:komori@asj-corp.jp)

■購読に関するお問い合わせは  
E-mail：[reader@asj-corp.jp](mailto:reader@asj-corp.jp)

■記事情報提供に関するお問い合わせは  
E-mail：[info@asj-corp.jp](mailto:info@asj-corp.jp)

■DM代行サービスおよび電子メール配信サービス  
当社では、企業の依頼によりDMまたは電子メールで情報をお届けすることがあります。これらのサービスでは、読者の皆様の個人情報を当該企業には一切公開していません。

Normal

Starlight

# Light Up in the Darkness

Dahua独自のISP&Hardwareにより,StarlightSeriesカメラは暗い場所でも鮮明なカラー映像を高フレームレートで実現します。

- 1/2.8" Exmor R CMOS
- Low illumination 0.005Lux/F1.4 (Color)
- Full HD 30fps@1080p
- True WDR up to 140dB
- H.265(HEVC) / H.264 / MJPEG
- ONVIF 2.4,PSIA,CGI



CE FC CCC UL ISO 9001:2000



**DAHUA TECHNOLOGY CO., LTD.**

No.1199 Bin'an Road, Binjiang District, Hangzhou, China. 310053  
Tel: +86-571-87688883 Fax: +86-571-87688815  
Email: overseas@dahuatech.com  
www.dahuasecurity.com

DAHUA社日本正規代理店  
三星ダイヤモンド工業株式会社  
〒566-0034大阪府摂津市香露園32-12  
Tel: 072-648-7526 Fax: 072-648-7582  
URL: <http://www.mitsuboshidiamond.com>

**MDI**  
Imaging Technology

# 機器を変えても全てがつながる。

## WEBGATE HYBRID DIGITAL VIDEO RECORDERS

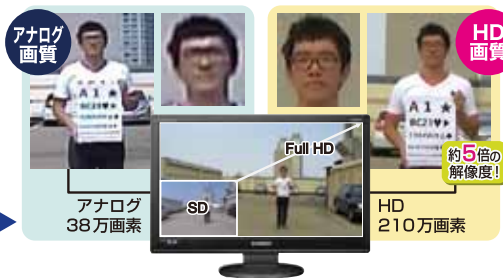
### アナログ方式でHD画質 HD-TVI Hybrid DVR

#### HD-TVIとは？ そのメリットは？

HD-TVIとはHigh Definition Transport Video Interfaceの略で、アナログ方式でHD画質(720P及び1080P)の監視が可能なシステムの規格です。2014年秋以降、安価で高性能なチップセットが開発された事がきっかけとなり、新しい規格(TVI、CVI、AHD)の製品がリリースされ始めています。

HD-TVIカメラは従来のアナログカメラに比べて低価格、また4倍以上の高画質(200万画素)で、ケーブルも同軸ケーブル(3C-2V)で約300m伝送可能となっております。HD-TVIは既存のアナログシステムの配線をそのまま利用し、高画質監視、録画、再生が実現できます。

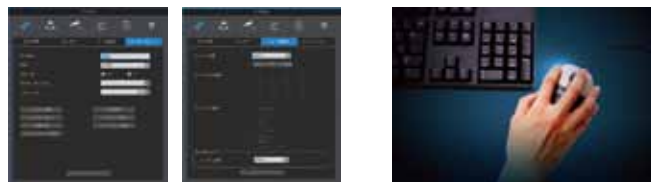
アナログ&HD比較:人物の顔もここまではっきり映ります



#### 魅力①

### 安心できるメニュー画面

WEBGATE HD-SDI DVRと共有のGUI。WEBGATE社製のHD-SDI DVRをお使いであればHD-TVI DVRも同じメニュー画面なので見慣れたメニュー画面で操作可能です。また、これまで同様マウスやリモコンで楽々操作できます。



#### 魅力②

### 全てのWEBGATE製品を 1つのソフトウェアで確認可能

チェーンストアや全国各地の工場など、多拠点に渡る監視もWEBGATE製品であれば、1つのソフトウェアで多拠点の映像を確認することができます。PCだけではなく、iPhoneやAndroidのスマートフォンからも確認できます。

PC	Webビューア Javaビューア(J Viewer) CMS(Control Center Monitor)	
モバイル	iphone/Android対応(WebEye)	



このような場所を監視する際に便利です。  
チェーンストア、複数の工場・事業所・マンションなど

### WEBGATE HD-TVI DVR ラインナップ

2016年2月初旬発売予定



**HTC410H 4ch / HTC810H 8ch**  
4ch / 8ch TVI HYBRID DVR

ビデオ入力:HD-TVI 1080p/720p、アナログ960H、アナログSD 15fps@1080p 及び30fps@720pで録画再生可能(チャンネルごと)



**HTC1610H 16ch**  
16ch TVI HYBRID DVR

ビデオ入力:HD-TVI 1080p/720p、アナログ960H、アナログSD 15fps@1080p 及び30fps@720pで録画再生可能(チャンネルごと)

## アナログカメラもHDカメラもこれ1台 EX-SDI PoC Hybrid DVR

### PoC Hybrid DVRとは？

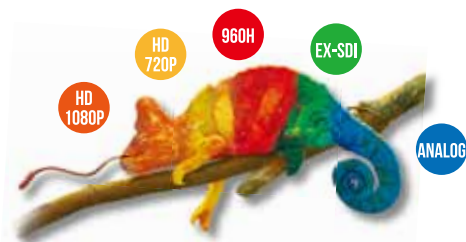
同軸ケーブルで伝送する5種類の異なるビデオ信号を、コンバータ等の追加デバイスを使用することなく自動認識で入力を可能にし、更に電源供給がされる電源を重畳して伝送を可能にしたシステムです。



### 魅力

## 「使いやすい」が便利！

- ・ 5種類の異なった解像度に対応：アナログ、960H、720p、1080p、EX-SDI
- ・ チャンネル毎にビデオ入力フォーマットを自動検知
- ・ それぞれの異なった解像度でフルフレーム再生
- ・ WEBGATE PoCカメラへ接続可能(ワンケーブルソリューション)
- ・ 電源とRS485信号を同軸ケーブルに重畳



### WEBGATE PoC Hybrid DVR ラインナップ

2016年春発売予定



**HSC821F-PD 8ch**  
8ch EX-SDI HYBRID DVR

ビデオ入力:HD-SDI 1080p/720p、アナログ960H、アナログSD 30fps@1080p/720pで録画再生可能(チャンネルごと)



**HS1620F-PD 16ch**  
16ch EX-SDI HYBRID DVR

ビデオ入力:HD-SDI 1080p/720p、アナログ960H、アナログSD 30fps@1080p/720pで録画再生可能(チャンネルごと)

DVRと合わせて  
さらに便利に！

### WEBGATE PoCカメラ ラインナップ



#### C1080PD-IR

HD-SDIドームカメラ(赤外線付)  
2.1メガピクセル高画質・デ  
イナイト&高機能タイプ / 低照  
度環境下でも高画質映像が  
可能(白黒:0.0005ルクス/  
カラー:0.2ルクス)



#### C1080PBM

HD-SDIボックスカメラ  
2.1メガピクセル高画質・デ  
イナイト&高機能タイプ /  
低照度環境下でも高画質映  
像が可能(白黒:0.0005ル  
クス/カラー:0.2ルクス)



#### C1080PBL-IR18

HD-SDI赤外線内蔵カメラ  
2.1メガピクセル高画質・IR  
内蔵全天候型小型デイナイトカ  
メラ / 低照度環境下でも高画  
質映像が可能(白黒:0.0005  
ルクス/カラー:0.2ルクス)

WEBGATE WEBGATE 日本総販売代理店

**TENPO PLANNING** 株式会社 店舗プランニング セキュリティ事業本部  
関西支店 仙台営業所 名古屋営業所 広島営業所 福岡営業所 技術センター

東京本社

〒151-0061 東京都渋谷区初台1-46-3 シモモビル2階  
TEL:03-3378-4901 FAX:03-3378-4906 www.tenpo.co.jp

販売代理店募集中

製造元 WEBGATE

## VIVOTEK社、ソニーのエッジ・ストレージ・ソリューションに参画

VIVOTEK社(台北・台湾)は、ソニーのエッジ・ストレージ・ソリューションとVIVOTEK社のH.265、5メガピクセル・ネットワークカメラで協業する。このパートナーシップにより、ネットワーク接続に障害が発生している間でもIP監視システムの信頼性を向上させ、マイクロSDカードの保守が必要な時には速やかに通知されるようになる。

IP監視システムを設置する利点の一つは、ネットワーク障害が発生しても安定した録画を継続できることにある。この目的のために、VIVOTEK社はH.265による5メガピクセル・カメラにおいて、ソニーのエッジ・ストレージのインスタント・バックアップ機能をサポートし、ネットワーク障害が検出されると映像は、安全に耐用期間通知機能を備えたソニーのマイクロSDカードに

保存される。ネットワークが復旧すれば、カメラに保存された情報は、自動的に録画システムへ転送される。

VIVOTEK社H.265による5メガピクセル・ネットワークカメラのユーザ・フレンドリな特徴は、エッジ・ストレージの保守通知機能にある。カメラがマイクロSDカードのエラーや不具合の警告を検出すると、残りブロック数や耐用期間をWEBブラウザ上に表示する。加えて、耐用期間情報にはマイクロSDカードの寿命情報が含まれており、保安スタッフは寿命が来る前に交換することができる。また、この情報は電子メールでノートPCや携帯電話また警報装置に通知される。この協業により、さらに安定したプラットフォームとなり、ユーザはそのビジネスと同様にデータが安全であることを確実なものとする。

## シュナイダーエレクトリックとTHK、データセンタ、サーバールーム分野での協業を発表

エネルギーマネジメントおよびオートメーションのシュナイダーエレクトリックと直線運動案内メーカのTHKは、データセンタ、サーバールーム向け(DC)分野で協業することに合意した。

今回の協業では、シュナイダーエレクトリックが提供する、サーバおよびストレージなどを搭載する「ラック」、ラック型の無停電電源装置「ラック型UPS」、DCなどで局所的にサーバ排出気を冷やす「ラック型の空調機」、空調設備の冷却効率を高めるDC向けコンテイメントシステム「EcoAisle」などを、THKの免震テーブルに搭載し、セット販売する。出荷前に搭載検証を実施し、搭載に必要な部品も合わせて提供するため、パートナー企業やエンド企業は、選定と検証の手間が省け信頼性のあるシステムの導入が短納期で可能となる。

日本は世界有数の「地震国」で、広く社会に浸透しているITシステムにも備えが求められている。ユーザからの震災対策強化の要望や、BCP(事業継続計画)対策を求める取引先の増加に応え、ITファシリティ機器を多く提供するシュナイダーエレクトリックと、DCや公共機関などで数多く免震テーブルの導入実績を持つTHKと共同で、大地震にも耐え、より強固なITファシリティ機器の提供を行うことになった。

### ■対象提供製品

- シュナイダーエレクトリック製品:ラックNetShelter、ラック型UPS Symmetra PX、ラック型空調機InRow、空調設備コンテイメント・システムEcoAisle
- THK製品:免震テーブルTSD型、TGS型

## Secutech India、展示内容の拡大と開催期日の変更を発表

2016年4月に開催するSecutech Indiaは、主催社の協業化に伴い、展示内容と開催期日を変更した。

これまでSecutech Indiaは、Asian Business Exhibition and Conferences Ltd(ABEC)とMesse Frankfurt New Era Business Media Ltd(MFNE)が共催していたが、ABECとFire Protection Association of Indiaによる協業およびABECとNational Association of Fire Officersによる協業に合意した。これにより、セキュリティ分野だけでなく消防分野も加えること

になった。そのため、展示スペースを3,000㎡から6,000㎡に拡大することになり、開催会場の関係から開催期日を当初の4月14日から16日までから4月21日から23日までと、1週間ずらすことになった。

Secutech India 2015では世界10カ国から120社の展示があり、15,000人の来場者があったが、今回の展示内容および会場の拡張により、さらに多くの出展社数と来場者が予想される。



# 24時間体制で 抜群の検知能力



## FLIR TCX™

ミニレット型サーマルカメラ



掲載された画像は参照用で、ここで示したカメラで撮影されたものとは限りません。  
©2015 FLIR Systems, Inc.

動くものを正確に検知する  
TCXをご利用いただくと

- 動くものを正確に検知して間違った警報を削減します
- 侵入検知・映像警報照合システムがリーズナブルな価格で利用できます
- PoE/12VDC、IP/MPX(HDCV7)/analog、ONVIFが簡単に組み込めます

詳細は[www.flir.com/isc-west-dailies](http://www.flir.com/isc-west-dailies)で。

フリアーシステムズジャパン株式会社  
〒141-0021  
東京都品川区上大崎2-13-17  
目黒東急ビル5階  
電話：03-6721-6648  
FAX：03-6721-7846  
e-mail：info@flir.jp



The World's **Sixth Sense**™

## 生体認証アライアンス・イニシアティブ、新たな評価・認定基準を発表

生体認証アライアンス・イニシアティブは、民生用生体認証技術の評価と認証テンプレートの提供を開始すると発表した。このベンチマークは、研究室向けの共通検証方法を確立して、全ての角度から評価し、一貫した方法で生体認証技術の認証を可能にする。

このベンチマークは、研究開発部門、評価部門、認証機関、生体認証技術を求めているエンドユーザの主要関係機関に恩恵をもたらしている。また、生体認証方式に関する可視性と透明性を実現している。これにより、選択した生体認証方式の効能を評価することで、企業が生体認証技術を導入しようとする基盤を築くことに繋がる。

さらに、機能や性能、相互運用性や環境、そして保全性などの前提条件を満たすことで、生体認証を公正に評価し認証することを目指している。

このベンチマークにより、民生向け生体認証分野、すなわち新用途の開拓や各種プラットフォームへの導入などを拡大し、裏付けられた性能をもとに利用することが可能になる。

なお、このベンチマークは、一般的な既存の規格に基づいて



評価されている。

- 企業の研究所や認証機関の運用評価テンプレート
- 研究開発用キットとの互換性は、大学の研究室が担当する
- 実証的かつ客観的な技術比較は、全研究部門で共有運用方法論を採用する

## RFIDの世界市場、2020年には132億米ドルに到達

リサーチ&マーケット社の報告書によると、世界のRFID市場は2015年の101億米ドルから132億米ドルにまで成長すると予測している。

報告書「RFIDの市場予測2016-2026年」では、2013年が88

億米ドル、2014年が95億米ドルだった市場が、2015年に101億米ドルに上昇したと見ている。これには、タグと読取機、ソフトウェアとRFIDカード、ラベルなど関連製品が含まれている。そして、2020年には132億米ドルまで成長すると予測している。

また、報告書によると、小売業で衣料用タグとして採用されているRFIDだけでも、2016年で46億米ドルが使用されると予測している。それでも、アパレル市場全体では、約15%にあたる8億のラベルが使用されるに過ぎない。なお、動物用タグは、多くの地域で法律が制定されているため、4.2億タグが使用されている。

全体としては、2015年に89億だったタグ販売数が、2016年には104億のタグが販売されるだろうと予測されている。

その成長の大部分は、受動型UHF RFIDラベルである。しかし、2015年のUHFタグの売上高は、HFタグの売上高の11%に過ぎない。その主な理由は、セキュリティ用のHFタグが、使い捨てで安価なUHFタグと比較して高価格であることに起因している。





# HD-TVI SOLUTIONS

CNB HD-TVI CAMERAS AND RECORDERS NOW ON SALE!

## カメラ



TVI ボックスカメラ **NEW**  
**AG20-1CH**



全天候型赤外線TVIカメラ  
**AB22-7CHR**



全天候型赤外線TVIカメラ  
**AB22-7CHR**



赤外線TVIマイクロドームカメラ  
**AD21-0CHR**



耐衝撃赤外線TVIドームカメラ  
**AV22-1CHR**



耐衝撃赤外線TVIマイクロドームカメラ  
**AV21-0CHR**

## DVR(エントリーモデル)

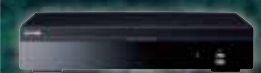


TVI HYBRID DVR  
**RTC041 (4CH) / RTC081 (8CH)**



TVI HYBRID DVR  
**RTC162 (16CH)**

## DVR(ハイスペックモデル)



TVI HYBRID DVR  
**RTD-042 (4CH) / RTD-082 (8CH)**



TVI HYBRID DVR  
**RTD-164 (16CH)**



— CNB TECHNOLOGY Inc. CNB Technology Inc. 日本総販売代理店 —

**TP TENPO PLANNING 株式会社 店舗プランニング**

東京本社 〒151-0061 東京都渋谷区初台1-46-3 シモトビル2F  
TEL:03-3378-4901 FAX:03-3378-4906 www.tenpo.co.jp

関西支店 仙台営業所 名古屋営業所 広島営業所 福岡営業所 技術センター

販売代理店募集中

製造元 CNB Technology Inc.

## 世界の生体認証市場、政府関係支出では2019年まで年平均22.3%の成長

リサーチ&マーケット社の報告書によると、世界での政府関係の生体認証支出は、2014年から2019年までの年平均成長率は22.3%と予測している。

市場は小規模から大規模までの幅広く多くのベンダが支えているが、生体認証システムの高コストが大きな課題だと指摘している。

主要ベンダが提供する製品とその機能比較は、報告書に詳細に記載されている。また、報告書では、世界での政府部門の生体認証支出の成長に影響を与える主な要員についても解説している。また、ベンダや市場規模だけでなく、市場で新た

に直面するリスクの傾向についても紹介している。

報告書では、2次元顔認識が広く多くの機関で受け入れられていると説明している。しかし、照明条件やポーズや表情の変化などの問題による不正確な識別の結果、有効性に疑問があることを指摘している。これらの問題を克服するために、3次元顔認識が紹介されている。これは、幾何学的な深さではなく、色やテクスチャの情報を使用しているため、照明条件による影響を受けない。そのため、3次元顔認識技術は、2D顔認識よりも高精度としている。

## 2022年の世界映像監視市場を予測する

映像監視市場は、セキュリティと安全性への懸念が上昇していることから世界中で人気を集めている。これは、映像監視メーカにとって大きな成長機会を創出することになり、高度な監視システムと需要の増加に繋がった。また、価格低減化と機能の高度化は、映像監視市場の成長を後押ししている。

RNCOS社調査報告書「世界のCCTV市場予測2022」では、世界の映像監視市場が2016年から2022年までの年平均成長率を12%程度と予想している。また、同社アナリストは、IP映像監視カメラがセキュリティ対策を一変させ、先進技術による統合解析ソフトウェアと高解像度を通じて、より多様なセキュリティ監視システム、大容量デジタル・ストレージ、そして互換性

を高めることで進化していると解説している。これにより、IP映像監視が世界の映像監視市場の主流となると判断している。

技術面では、IPストレージ・エリア・ネットワーク(IP SAN)が、DVR/ NVRのストレージに勢いをつけている。それは、改善されたスケーラビリティ、ストレージ容量、保存などで顕著である。そして、テロの脅威や犯罪率の増加が映像解析の進化を促進していると分析している。

IP映像監視カメラはセキュリティ対策に革命を起こしたが、今後も解析ソフトウェア用の高解像度化、大容量デジタル・ストレージの供給、互換性などにより、より多様なセキュリティ監視システムを可能にするために進化し続けると予測している。

## LIXIL、IoT Houseプロジェクトを開始

住まいと暮らしの総合住生活企業であるLIXILは、東京大学大学院情報学環コピキタス情報社会基盤研究センター長の坂村健教授の協力を得て、実証実験施設(2017年竣工予定)を建設するなど、住生活におけるIoTの活用に向けた「LIXIL IoT House プロジェクト」を開始した。

同社は、これまで人やモノ、家が情報で結びついた「住生活の未来」について研究を重ねてきた。2009年に研究を開始した研究施設「U2-Home(ユースクウェアホーム)」では、センサを使用し、生活シーンに合わせて住環境をコントロールするなど、情報化した住まいでの生活について研究してきた。

本プロジェクトでは、新たな試みとして、社員モニタを活用し

た実生活での検証や、理想モデルに基づく実証実験施設での検証などを通じて、住まいの中でのIoTの可能性を追求していく。

具体的には、まず第1フェーズ(2015年～2016年)で構想・予備実験を行い、第2フェーズ(2016年～2017年)では実証環境の構築、そして第3フェーズ(2017年～)では、実際に実証実験による有効性の検証を行う。

### ■「U2-Home(ユースクウェアホーム)」

LIXILの商品や生活研究のノウハウと、最新のセンサやネットワークの技術を加え、人・モノ・家・社会が情報で結ばれた「住生活の未来」についてのアイデア発想と検証実験を行っている。

## ADLINK、英国PrismTech社の100%株式買収を発表

ADLINKテクノロジー社(台湾・台北)は、英国PrismTech社の100%の株式を買収することを発表した。

PrismTech社は1992年設立で、英国ニューカッスルに拠点を置き、IoT向けデータ配信ソフトウェア(DDS:Data

Distribution Software)規格の開発と実装を手がけて

いる。今回の買収で、急成

長を遂げる産業用IoT市場でのADLINK社の優位性をさらに強化する考え。ソフトウェアとハードウェアの相乗効果により、迅速なタイム・トゥ・マーケットを保証し、全ての個別市場向けの統合エッジ・プラットフォームとソリューションの創造が可能となる。



## フリーシステムズ社、DVTEL社を買収

フリーシステムズ社は、先進の映像監視ソフトウェアおよびハードウェアの有力開発企業のDVTEL社を92百万米ドルで買収した。

DVTELは、企業ベースのセキュリティおよび監視ソリューションズを提供する企業で、統合ビデオ管理ソフトウェア(VMS)、先進ビデオ解析ソフトウェア、可視/赤外線セキュリティカメラ、

関連サーバ、エンコーダなどの開発、供給を行っている。

今回の買収により、フリーシステムズ社は、Lorexブランドのセキュリティ・システムだけでなく、既存のフリーシステムズ・ブランドの赤外線および可視カメラと合わせて、エンドユーザ、中小規模事業者、企業および基盤整備レベル向け市場に広範にサービスを提供するセキュリティ・システム提供企業となる。

**ようこそ! OEM/ODMカスタマの皆様**

**LILIN社が供給する先進のIPカメラとNVRです**

- ☑ DHCP, SNMP, SIPなど20種類以上のネットワーク・プロトコルをサポート
- ☑ 品質のOEM/ODMサービスの品質を保証
- ☑ 世界市場で知名度を持ち35年のキャリアを有するビデオ監視システム・メーカー
- ☑ 台湾国内での設計と製造
- ☑ 日本の安全基準に準拠

Merit ULIN Ent Co Ltd 利凌企業 | [www.meritlilin.com](http://www.meritlilin.com) | Email: [joyhuang@meritlilin.com.tw](mailto:joyhuang@meritlilin.com.tw) | Tel: +886 222988988

## ネットカムシステムズ、超小型モニタリングユニットSiViewとは？

ネットカムシステムズが提供しているSiView(シー・ビュー)は、「Simple」+「Viewer」から名付けられた。簡単な構成でモニタリング・システムを構築したいというユーザからの要望により誕生したモニタリングユニットである。

ネットワークカメラの映像をモニタに表示させるためにはパソコンや表示ソフトが必要だが、SiViewがあれば簡単にモニタリングできる。寸法は11.8cm×5.6cm×7cm(W,H,D)の超小型サイズで本体質量も190g。設置場所にも困らない。

### 簡単にネットワークカメラモニタリング環境を構築



正面

### HDMIとVGA端子を装備しフルHDサイズに対応



背面

モニタへの出力端子はHDMIとVGAの両方を搭載し、どちらか一方または両方を同時に使用(デュアルディスプレイ)することができる。VGA対応の液晶モニタやHDMI対応の液晶テレビであれば直接つながる。映像圧縮コーデックはMJPEGとH.264に対応しており、最大1920×1080ピクセルのフルHD解像度表示が可能だ。

オーディオ端子も付属しているので、高解像度の映像だけではなく音声のモニタリングも可能となる。

※デュアルディスプレイ使用時には各4分割以下での表示を推奨。

### 最大160台のカメラを登録して単画面や4分割、9分割でシーケンシャル表示

マルチベンダ対応でメーカーが複数混在するカメラ機種を最大160台まで登録できる。登録した任意のカメラを単画面や4分割、5+1分割、6分割、9分割で表示可能で、シーケンシャル表示(スイッチャ、任意の時間で切り替え表示)も設定できる。メニューボタンの非表示やウィンドウ枠なし表示もできるので、ユーザのニーズに合わせた運用が可能となっている。



### PTZ(パン・チルト・ズーム)操作もできる

KxViewProシリーズに準じたPTZコントローラーもある。ライブ画面でモニタリングするだけではなく、必要時にはカメラ操作を行うこともできる。



### 無線LAN対応でケーブルレスの設置も可能

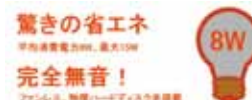
Wi-FiとBluetoothを標準で搭載。LANケーブルの配線が難しい現場でも、ワイヤレスでの設置ができる。

※Wi-Fi 802.11a/b/g/n、Bluetooth 2.1+EDR/4.0 に対応。



### 驚きの省エネ性能、完全無音で動作音ゼロ!

平均消費電力はわずか「8W」。これはLED電球1個分、一般的なデスクトップパソコンの約1/5~1/10。驚きの省エネ性能で、映像を常時表示させるモニタリングユニットとしてはうれしい設計といえる。



高性能、かつ発熱の少ない最新のIntelプロセッサを搭載し、ファンレス仕様を実現。記憶媒体にはDDR3メモリおよび半導体ディスクを搭載し、物理的なハードディスクを使用していないので完全無音、動作音ゼロを実現している。



# IPカメラ用PoE延長のニーズが拡大

## 意外と短い100mの壁

従来の同軸ケーブルを中心としたアナログ監視カメラの敷設案件に対して、UTPケーブルによるLAN配線工事は制約が多い。とりわけ、規格で定義された100m以内でイーサネットスイッチを介した配線を行うことや、光ファイバを用いて延長を図ることなど手法は様々あるが、そこで電源が簡単に確保できるとは限らず頭を抱えることになりやすい。さらにダクト配線を行う場合などは、図面計算した距離よりも長いケーブルが必要になることもよくある。古い建屋内の工事で、前述した電源の課題と配線経路の迂回は懸案事項である。

## PoE給電の電力を活かしたリピータ中継

アイ・ビー・エス・ジャパンが扱うInterCoax社のEPR-111は、PoEハブやPoEインジェクタなどの給電装置(PSE)から電源供給を受け、さらに延長先の装置にPoE(IEEE802.3af)給電を中継するPoEリピータだ。リピータとして優れている点は、中継ポイントでの電源供給を必要としないだけでなく延長先のケーブル長を130mまでサポートしている点だ。さらに中継を


繰り返すことで、最大4台のリピータを経由して最長600mのUTP延長を実現することができる。小型で設置しやすいだけでなく、性能面でも高いパフォーマンスを提供している。※距離はケーブルのグレードや品質、IPカメラの要求電力などにより変わります。

## 主な利用シーン

- オフィスやマンションなどのビル・オートメーション
- 工場やプラントなどの広域施設
- 駐車場やメガソーラーなどのエリア監視
- ショッピング・モールなどの大型商業施設
- 港湾、河川監視

## 【主な特長】

- LAN (RJ45) インタフェイス: 10/100Base-T(x)自動認識
- PoE規格: IEEE802.3af
- 最大電力: 15W
- サイズ・重量: 40.1×66.4×21mm、72.5g
- 動作温度範囲: 0~60℃

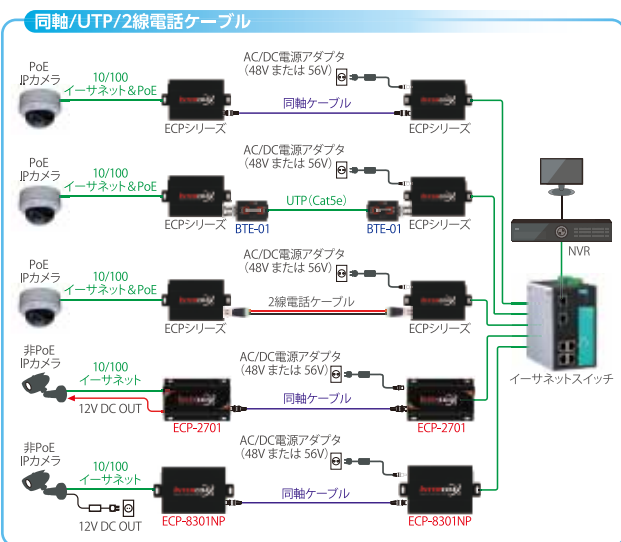


**Intercoax**  
イーサネット延長用  
メディアコンバータ

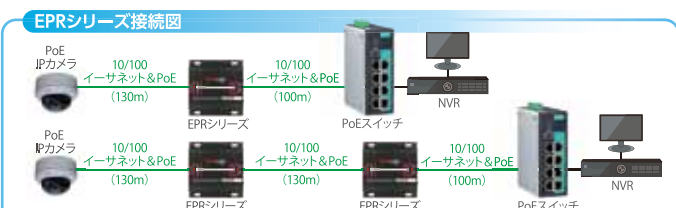
製品ラインナップ  
※表示価格は税抜本体価格です

<p><b>ECP-2700シリーズ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>最大帯域270Mbps</li> <li>1:63までのマルチ接続</li> <li>最長2km延長</li> </ul> <p>33,000円~</p>	<p><b>ECP-9500シリーズ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>最大帯域90Mbps</li> <li>1:15までのマルチ接続</li> <li>最長500m延長</li> </ul> <p>16,900円~</p>	<p><b>EPR100シリーズ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>10/100BASE-T(X)スピード</li> <li>IEEE802.3af PoE</li> <li>PoE受電で130m延長</li> <li>(4リピータで最長600m)</li> </ul> <p>16,900円~</p>
<p><b>ECP-8400シリーズ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>最大帯域95~360Mbps</li> <li>UTPで最長300m延長</li> </ul> <p>20,600円~</p>	<p><b>ECP-8300シリーズ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>最大帯域50Mbps</li> <li>UTPで最長200m延長</li> </ul> <p>10,400円~</p>	

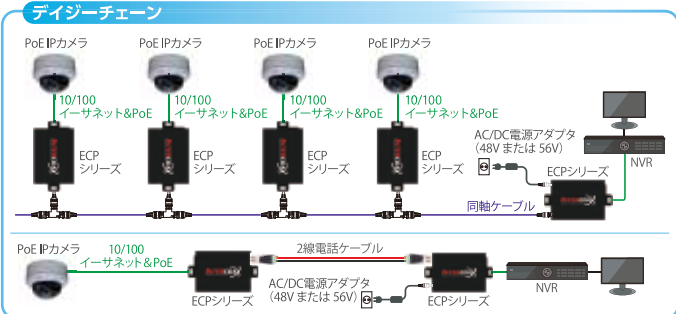
**同軸/UTP/2線電話ケーブル**



**EPRシリーズ接続図**



**ディジーチェーン**



●掲載されている接続図は全てイメージであり、実際の製品とケーブルの接続場所が異なる場合がございます。

**IBS Japan**  
アイビー・エス・ジャパン株式会社  
http://www.ibsjapan.co.jp/

■ 厚木センター  
〒243-0432 神奈川県海老名市中央2-9-50  
海老名プライムタワー12F  
TEL:046-234-9200 FAX:046-234-7861

■ 東京システムセンター  
〒153-0043 東京都目黒区東山1-2-7  
第44興和ビル9F  
TEL:03-3713-8944 FAX:03-3713-8931

■ 大阪営業所  
〒541-0052 大阪府大阪市中央区安土町2-3-13  
大阪国際ビルディング31F  
TEL:06-7711-3767 FAX:06-4964-2046

50  
2015  
SECURITY

# 業界再編後の 勝者を目指して

●ジルレイ著

## 2015Security 50:

a&s Internationalは、世界のセキュリティ・メーカ上位50社の2014年から2015年の財務報告書を評価した。全世界の市場需要は依然として大きいですが、幾つかの要因により、セキュリティ業界に異変が起きている。今年のリポートでは、中国企業の躍進とそれを迎え撃つライバル企業の状況を伝える。市場の新たな秩序が見えてくるのはもうすぐだ。

Sponsors **EverFocus®**

**milestone**  
The computer vision company

**VICON**





2014から2015年、全世界のセキュリティ機器の需要は新たな高みに達した。テロ攻撃と市民暴動が相次いだ結果、様々な市場分野で、導入側がより安全な環境を求めてセキュリティ機器への投資を行った。IHS社2014年版のレポートによると、2014年の映像監視、アクセス・コントロールの世界市場の規模は、それぞれ150億米ドルおよび35億米ドルと試算されている。これらの市場は、2018年の終わりまでに、それぞれ約236億ドルおよび49億ドルに成長すると予測されている。

全世界でセキュリティの需要が依然として根強いが、幾つかの要因により、セキュリティ業界の地図が塗り替えられている。中国の2大メーカーが国際舞台への躍進を果たす一方、その後塵を拝し事業の多角化を余儀なくされたライバル企業もある。また、世界的に景気と政情が不安定であることから、多くのメーカーにとり今後の成長は不確実だ。

### トップ50社の成長と、影を落とす様々な要因

売上高上位10社の顔ぶれは2014年も変わらない。最も大きな変化は、ハイクビジョン・デジタル・テクノロジ社とダファ・テクノロジ社の著しい成長だ。ハイクビジョン社は57.5%の成長率を示し、ボッシュ・セキュリティ・システムズAG社に代わり2位に浮上した。ダファ社は35.5%の成長率を示し、アッサ・アプロイ社グローバル・テクノロジズ部門を抜き5位に躍進した。サフラン社とアッサ・アプロイ社は、アクセス・コントロール分野の技術革新と国家事業案件の高い需要に支えられ、引き続き健全な成長率を維持している。一方、サムスン・テックウィン社は2014年にやや失速している。同社は2015年の買収に伴い、韓国国内での社名をハンファ・テックウィン社に変えた。アクシス・コミュニケーションAB社の順位は、タイコ・セキュリティ・プロダクツ社の成長と、トップ10圏外に去ったフリア・システムズ社の



「相互接続型のソリューションを実現する、非常に高度な製品のニーズが高まっている。マイルストーン・ハスキーは、将来性に富んで進化している情報化したNVRだ。当社のパートナー企業は、本製品を利用して、顧客が求める完璧なソリューションを提供することができる」

マイルストーン・システムズ社MEA  
(中東・アフリカ)地域担当取締役  
ピータ・ビルツテッド氏

影響が大きい。

上位50社の2014年の財務報告書を見ると、各社とも緩やかな成長を維持しているが、2014年と2015年上半期では、多くの企業で純利益が大幅に減少している。2014年の平均成長率はわずか4%で、2010年以来最低の数字になっている。ダファ社は、2015年上半期、純利益が9.4%減少した。アクシス・コミュニケーションズAB社の減少率は2.3%であり、インディゴ・ヴィジョン社は33%減少している。ダイナカラー社やGeoVision、VIVOTEKなど台湾の主要メーカーでも、純利益の減少傾向が見られるようになった。既存のアナログ・ベースの韓国メーカーの大部分が、引き続き利益を出すのに苦戦を強いられている。

逆に、MOBOTIX社とKOCOM社は好業績が際立っている。MOBOTIX社は、2015年の純利益の伸び率が68%を記録し、KOCOM社の売上は2014年が90%増、2015年上半期が59.5%増だった。

ネットワークカメラ・ベンダの望ましい粗利益率は40~50%だが、2014年の財務報告を見ると、トップ50社の平均粗利益率は2013年とほぼ同じ水準を維持している。ただし、アクシス・コミュニケーションズAB社とAvigilon社、GeoVision社とインディゴ・ヴィジョン社そしてファマックス社は、50%を上回る粗利益率を達成している。

トップ50社に、2014年から2015年に直面した主な問題について質問したところ、ネットワークカメラの全体的な価格低下、中国や南米、ロシアや東南ヨーロッパ、東南アジアなど一部の地域市場における景気停滞、世界的な石油、ガス市場の下落に言及する企業が多かった。

### メガピクセル・ネットワークカメラのコモディティ化

ヴィーコン・インダストリ社CEOエリック・ファラトン氏は「監視カメラ機能のシリコン化が、特に2015年のセキュリティ業界に大きく影響したと思う。複雑なメガピクセル・カメラのコストが大幅に低下したのは、こうした機能がチップに搭載されるようになったからだ。カメラ業界は、カメラのパフォーマンスや機能の革新を経て、PCのOEMビジネスに似た動きを示すようになり、またこのシリコン化により、業界のコモディティ化が促進されている。コモディティ化の結果、一部のメーカーが『プレミアム』機能を提供しても、他のメーカーの製品が十分な機能を備えていれば、顧客は余分な機能にお金を使おうとはしなくなっており、競争環境が平準化されつつある。シリコン化は業界の傾向として続く見通しで、エンドユーザ価値や価値の創出を顧みない経



「この業界ですっと使われてきた独自仕様の動作が多く見られるが、それは顧客にとり決して良いことではない。当社は標準規格に100%準拠したオープン・プラットフォームを提供したい」

ヴィーコン・インダストリ社CEO  
エリック・ファラトン氏

済モデルでは、生き残りは難しくなるだろう」と語る。

### 石油、ガス市場の下落

サイネティクス社CEOポール・ウェブ氏は「石油とガスは重要産業であるため、この市場で起こっている価格の下落に言及しないわけにはいかない。落ち込み方は相当に大きく、セキュリティ業界でも、案件の遅延など必然的な影響が生じてはいるが、大荒れの空模様の中、ちらほらと光が射しつつある」と語る。

アレジオン社の財務報告書には「石油価格の大幅な下落により、景気情勢の悪化が加速し、近い将来の回復見通しもないため、ベネズエラの再度の通貨切り下げ、為替相場の乱高下、経済危機といった事態が危ぶまれる。現在のような不安定な状況が続くと、供給企業から必要な資材を調達しにくくなり、顧客が義務を履行できなくなり、製品の生産と販売に支障を来し、ベネズエラでの事業に悪影響が生じることが予測される」と記されている。

インディゴ・ヴィジョン社の最近の報道発表では、「2015年6月30日までの6カ月間で、売上が29%減少した。アジア太平洋地域では、売り上げの新記録を打ち立てた前期から最大の減少率になった。中南米でもブラジルの石油やガス市場での支出額の急減や、コロンビアの安全都市案件の延期を受け、大きく減少している。対照的に、英国市場では警察および安全都市計画の実施により、22%の売上増を記録した」と記されている。

### 中国経済の失速

MOBOTIX社経営戦略責任者トリストラン・ハーゲ氏は「中国経済の失速に伴い、小規模レベルのカメラ市場で販売代理店の価格競争の様相を呈している。この市場分野は、機能や革新性の水準が低いいため、一部の販売代理店で付加価値が減少している」と言う。アッサ・アブロイ社の社長兼CEOヨハン・モリン

## 2014年に2桁成長を記録した企業

企業名	2014年 (100万米ドル)	2013年 (100万米ドル)	売上の伸び率 (2014-2013)
ハイクビジョン社	2,528.9	1,605.9	57.5%
Avigilon社	207.1	136.1	52.2%
エヴァスプリング・インダストリ社	30.3	20.7	46.1%
ダリ・テクノロジー社	56.6	40.8	38.5%
ダファ社	1,145.3	845.1	35.5%
スプリマ社	58.3	45.6	28.0%
マガル・セキュリティ・システムズ社 (境界監視製品)	37.6	30.6	22.9%
ダイナカラー社	83.7	70.8	18.3%
タイコ・セキュリティ・プロダクツ社	760.0	650.0	16.9%
インディゴ・ヴィジョン社	58.2	50.0	16.3%
アクシス・コミュニケーションAB社	639.7	553.6	15.5%
ハンヤン・ヒタオ社(旧フヴィロン社)	19.4	17.1	13.3%
マイルストーン・システムズ社	68.0	60.4	12.5%
アッサ・アブロイ社	845.9	759.7	11.4%
ファマックス社	49.1	44.4	10.7%
オブテックス (センサ製品事業)	145.0	131.5	10.3%

2015年の上半期は、それぞれ41.3%および47.8%の成長率になっている。

興味深いことに、ハイクビジョン社とダファ社は売上収益で上位5社入りを果たしているが、両社の総収益に占める外国からの収益は、20~30%に過ぎない。そのため、近い将来中国が米国に代わる世界最大の経済圏になると予測される。同時に、ハイクビジョン社とダファ社は国内市場以外でも成長する余地がある。

ハイクビジョン社もダファ社も、世界各地の案件に積極的に関わっている。最も重要な市場の1つが、一部の開発途上国を中心とした安全都市計画とスマートシティ計画だ。この2社は、独自のVMSによる総合映像監視ソリューションも開発している。その結果、他の多くの総合ソリューション供給企業がこれに追随した。

### その他の多国籍企業: 再編成、事業改革、再ポジショニング

氏も同意見で、同社では中国以外の全ての事業部で良好な有機的成長が見られると発言している。

### 世界の業界地図を塗り替える中国

中国経済が世界全体のセキュリティ市場に大きく影響しているだけでなく、中国を代表するメーカーであるハイクビジョン社とダファ社が、西側諸国企業がこれまで牽引していた業界地図を塗り替えようとしている。ハイクビジョン社は2014年に25億ドルを売り上げ、57.5%の成長率を示した。同社は、2015年の上半期も約60%という非常に高い成長率を記録している。2015年または2016年には、ハイクビジョン社が世界最大のセキュリティ企業になる可能性がある。同社の財務報告書によると、2013年の成長率は海外市場で107.8%、中国国内市場で37.8%だった。2014年の海外市場での成長率はやや低下して74.9%だが、国内市場では引き続き56%の成長率を示している。

“今年、上位50社の多くが市場競争力を維持するため、組織の再編成や統合を行った。”

セキュリティ業界の世界的企業は、中国メーカーとの競争の熾烈化、セキュリティ機器の営利主義化という現実と直面し、変化への準備を進めている。今年は、トップ50社の多くが市場競争力を維持するため、組織の再編成や統合を行った。一部の企業は、市場選択や用途の多角化を通じて、新たな機会を追求している。

2015年9月下旬、ハネウェル社は、同社のセキュリティ部門と防火部門を統合して1つの事業体にすると発表した。同社が最近発表した声明には「セキュリティ・グループ(HSG)とファイア・セイフティ(HFS)を統合し、ハネウェル・オートメーション&コントロール・ソリューションズ(ACS)のハネウェル社セキュリティ&ファイア(HSF)ビジネス・ユニットとして新たに再出発する」と記されている。

フリヤ社の発表によると、同社は事業の再編成を行い、監視、計測、OEMおよび新興市場、海事、セキュリティ、検知の6事業部門を発足させた。セキュリティ部門では、商業施設、重要基盤、ホームセキュリティ向け製品と幅広い監視アプリケーション製品を、FLIRおよびLorexブランドで販売する。この再編成により、多様な顧客や用途に対応する同社の製品とソリューション

ンをより効率的に組み合わせることができる。

インフィノヴァ社もフリヤ社と同様DIY市場への進出を目指して、スワン・コミュニケーションズ社を買収した。Swannブランドは消費者の間で有名で、約1万5,000の大規模小売店に加え、直販およびパートナー企業のEコマース・サイトの販路がある。2015年上半期の同社の売上高は、98%の成長率を記録した。

Avigilon社は、全世界のセキュリティ市場向けのHDおよびメガピクセル解像度のネットワーク映像監視システム、映像解析、アクセス・コントロール機器で利用する重要なテクノロジーを取得し、2015年にオブジェクトビデオ社の買収に続いて、自動イベント検知、パターン・ベースの分析アルゴリズム、実例を挙げて教える形式のセルフ・ラーニング機能など、国内外の96の映像解析関連特許の買収を完了した。同社は最近、7メガピクセル・カメラを発表している。今後は、同社のセキュリティとIoT(モノのインターネット)の分野での重要なテクノロジーの戦略的な買収が見られるだろう。

2014年、キヤノン欧州社によるマイルストーン社買収が業界で大きな話題を呼んだ。これにより、今後は独自仕様のVMSが増えると予測する業界専門家が多い。そう断言するのは時期尚早だが、キヤノン社による買収後、ヴィーコン社、オンシ社、インディゴ・ヴィジョン社、MOBOTIX社などのメーカーが続々と独自のVMSの開発に着手しているのは確かだ。一部のメーカーは「標準規格ベース」を主張しているが、独自仕様の傾向が強いメーカーもあるようだ。

キヤノン社はマイルストーン社買収に続いて、アクシス・コミュニケーションズAB社を買収した。これは、世界最大のセキュリティ・ソリューション・プロバイダを目指しての買収だが、今後最大の競合企業になると目されているハイクビジョン社にどう対抗するかが最初の課題だろう。

アレジオン社は、アクセス・コントロールの分野で業界第1位のアッサ・アプロイ社に対抗して、EMEA(欧州・中東・アフリカ)地域での地盤を強化するため、シモンズヴォス社を買収した。サムスン社は、親会社ハンファ社のソリューションと強みを活かし、他の市場に進出する意向だ。ナイス・システムズ社は今年、セキュリティ事業部を売却してセキュリティ市場から撤退した。同社後継の新会社クォグニファイ社は、バッテリー・ベンチャ社と資本関係がある。確認できる唯一の情報では、この新会社は引き続きセキュリティのトップエンド市場にPSIMの浸透を図っていく。

タイコ社もブランドの統合と強化に努めている。同社の最近



「市街地監視の理想的な中央管理プラットフォームは、事件を防止し予測し監視するだけでなく、事件発生後の調査が可能な優れたツールでなければならない。当社は、こうした要件を満たす統合型の管理プラットフォーム Genie XMSを開発した」

エヴァーフォーカス・エレクトロニクス社  
会長兼社長ジミー・ファン氏

の発表では、導入側向けの統合システムとソリューションの開発に注力してきたという。タイコ・セキュリティ・プロダクツ社成長市場&地域戦略担当上級取締役レオン・ラングライスは「当社は今年、1つのソフトウェアとデータベースでアメリカン・ダイナミクス社とソフトウェア・ハウス社を完全に管理できる統一システム、victorを発表した。当社は、住宅や小規模企業向けにスマートホームに力を入れてきた。セキュリティ・システムは、セキュリティ以外にも多くの役割を果たすことが期待される。スマートフォンやタブレットが普及し、いつでも、どこでもフルに管理できるシステムが求められている。タイコ・セキュリティ・プロダクツ社のポートフォリオに新しく加わったコルシス社への投資は、この選択が当社にいかに重要かを物語っている」と語る。

インディゴ・ヴィジョン社は、エンド・ツー・エンドの映像監視ソリューションに加えて、映像解析機能を搭載したウェアブル・カメラという興味深い製品を発表した。同社は、この製品でモバイル・ユーザや単独作業員などの新たな顧客層を開拓する計画だ。

## 中国以外のアジア企業の反撃

台湾、韓国を主とするアジアのメーカーに目を向けると、今年には中国の競合他社の影響が最も大きかった。その結果はSecurity 50レポートから明らかだ。これらのメーカーは、提携や世界進出、新開発システムを通じて、さらなる成長力を確保することが期待される。

VIVOTEK社ブランド・ビジネス事業部担当副社長ウィリアム・ク氏は「中国との過酷な競争と市場での熾烈な価格競争への即応を経験し数多くの調整を行った結果、最近では社内業務や管理がより効率化した。例えば、ITのビジネスモデルを採用し、パートナーとの戦略的協力関係を増やしている。相互の強みを活かし、市場での成長力を確保する方法を学んだ当社は、パートナーと

## 2014年の粗利益率トップ10社

企業名	2014年 売り上げ (100万\$)	売り上げの 伸び率 (2014-2013)	2014年 粗利益 (100万\$)	粗利益の 伸び率 (2014-2013)	2014年 粗利益率
インディゴ・ヴィジョン社	58.2	16.3%	33.5	18.2%	57.6%
ファマックス社	49.1	10.7%	28.2	13.5%	57.4%
Avigilon社	207.1	52.2%	117.3	58.9%	56.6%
GeoVision社	68.8	-1.6%	36.5	-5.1%	53.0%
アクシス・コミュニケーションズAB社	639.7	15.5%	331.2	16.1%	51.8%
スプラ社	58.3	28.0%	28.3	19.6%	48.4%
ダイナカラー社	83.7	18.3%	34.5	19.7%	41.2%
エヴァスプリング・インダストリ社	30.3	46.1%	11.2	52.4%	37.0%
ハント・エレクトリック社	22.8	-18.7%	8.4	-17.6%	36.7%
ヴィーコン・インダストリ社	34.9	-12.5%	12.2	-19.7%	34.8%

の長期的な関係を重視し、エコシステムの構築により共に成長していくことを望んでいる」と語る。

タムロン社の2014年の財務報告書には「産業用光学機器の販売は、競争が激化した中国市場で特に低調だった。しかし、それ以外の主要市場では、ネットワークカメラをサポートする監視カメラ用レンズの拡販が実を結び、監視カメラ市場の世界的な拡大もあり、売上増を記録している」と記されている。

エヴァーフォーカス・エレクトロニクス社会兼社長ジミー・ファン氏は「監視分野のうち今後数年間で最も成長が速い業種別市場は、市街地監視だと言われている。学校構内や銀行また警察や公益事業の分野でも、需要の増加が予測されている。そのため、当社は、市街地監視で地方当局や管理当局の状況認識能力を強化し、応答時間を短縮することができる、独自の統合型プラットフォームXMSの完成を急いでいる」と言う。

## 新たな市場秩序

セキュリティ業界では過去2年間、非常に数多くの変化が起きた。こうした変化により業界がどこへ向かうのか、新たな市場秩序がいつ成立するかを見極めるには、まだ時間が必要だ。引き続き、セキュリティを超える発想そして新たな市場や機会の探索が、ほとんどの企業にとり勝利への秘策になるだろう。

Security 50  
ランキングについて:

世界の上場メーカを、公開されている2014年度の財務報告書に記載された製品の売上高、粗利益、利益率だけで順位付けした。専門メーカからエンド・ツー・エンドでソリューションを提供するメーカまで、様々な企業を掲載している。各社の順位にこだわらず、成功をもたらした根本的な原因に注目していただきたい。


**注** a&s International誌は、個々の企業が提出した財務情報について一切の責任を負わない。比較の公平を期すため、米ドル以外の通貨については、年度の中間にあたる2015年7月10日のXE.comの為替レートにより換算した。そのためa&s International誌が作成した財務情報資料は、自社の販売実績を知ってもらいたいという参加企業の意志に基づく公平なリストになっている。

Security 50  
ランキング対象企業

- 映像監視、アクセス・コントロール、侵入検知、複数の製品選択を含む電子セキュリティ機器、システムのプロバイダ
- 独自の製品、ブランド、ソリューションを有するセキュリティ企業または純粋なメーカ
- 上場企業のみ

(注: ただしInternational誌は、保証付きの年次報告書を提出できる株式非公開の多国籍企業も、毎年ごく少数ながら含めている。これらの企業の参加資格は、ブランド認知度や国際市場での市場専有の観点から、International誌編集部で慎重に検証を済ませている)

- 公認会計士または会計事務所による、監査済み、保証付きの2014年度、2013年度、2015年度上半期の財務諸表を提出可能な企業
- 販売会社、システム構築企業、再販業者、販売業者、工事会社、警備会社、情報セキュリティ企業、防災事業者、またはこれらに関連する収益は除外

A hand holding a globe with a network overlay. The globe is surrounded by a complex network of white lines and dots, representing a global network or data flow. The hand is positioned at the bottom, holding the globe from underneath. The background is a blurred blue and white, suggesting a professional or technological setting.

2015年はセキュリティ業界にとり非常に波乱の多い1年だった。統合型ソリューションの需要が増えるような出来事がいくつか起こった。市場が統合へ向かう兆候も見られ、大規模な合併、買収が相次いだ。IoT(モノのインターネット)などの新しいテクノロジーや、スマートシティなどの構想により、業界の動きは今後さらに活発化しそうだ。

●ブラザンス・アピットマス 著

# 高まる 安全上の懸念、 世界は スマート化へ一直線

今年世界を駆け巡った様々な感情の中でも極めて日常的なテーマは「不安」だろう。より正確に言うと不安の増大だ。この1年間の国際的なマスコミ報道をざっと眺めれば、その原因も自ずと明らかだ。

2015年、世界はテロ行為の多発、戦争に端を発する移民危機、先端テクノロジーの発達によるプライバシーの懸念の増大など、安全という問題との折り合いの付け方を改めて問われることになった。

この状況は、市場分析からも明らかだ。最近トランスパレンシ・マーケット・リサーチ社のレポートでは、世界的に安全への懸念が強まり、各国政府が物理的な安全対策に積極的に予算を割くため、世界の物理セキュリティ市場は、2013年から2019年までの間、年平均成長率14.9%で堅調に成長していくと予測している。

### 安全上の懸念の増大による累積的な影響

セキュリティ業界は、安全に対する懸念の高まりと、それによって潜在的な市場需要が押し上げられている状況をよく認識している。今年、揃って売り上げを伸ばした大手セキュリティ・ソリューション・プロバイダ各社は、安全意識の高まりから、高度なセキュリティ・システムの需要が拡大している事実を認めている。IDIS欧州社常務取締役ブライアン・ソング氏は「確かに米国や中東そして欧州など、当社の主要市場の多くは相変わらず脅威レベルが高く、企業や公共施設を中心に、セキュリティ関連の施策やシステムを見直す動きが続いている。さらに状況を複雑にしているのが、注目を集めるサイバー攻撃の頻発だ。そのため、企業は、非常に回復力の高いネットワーク監視ソリューションを求めている」と語る。



欧州の移民危機などが引き金になり、特定のセキュリティ・ソリューションの需要が世界的に急増している。



MOBOTIX社  
経営戦略責任者  
(CSO)  
トリサン・ハーゲ氏



マガル・セキュリティ・システムズ社  
ビジネス開発&マーケティング担当  
上級副社長  
ハガイ・カツ氏



VIVOTEK社ブランド  
ビジネス事業部担当  
副社長  
ウィリアム・ク氏



タイコ・セキュリティ・プロダクツ社  
成長市場&地域戦略  
担当上級取締役  
レオン・ラングレイス氏

マガル・セキュリティ・システムズ社ビジネス開発&マーケティング担当上級副社長ハガイ・カツ氏は、より具体的な観点から懸念事項を挙げる。アフリカ諸国での過激派組織の継続的な活動、欧州での移民の懸念、中東でのテロ行為の懸念といった重大な問題の他にも、ホワイトハウスに侵入したドローン、メキシコの刑務所からの麻薬王の脱走など、単発的な事件が挙げられる。

VIVOTEK社ブランドビジネス事業部担当副社長ウィリアム・ク氏も同意見で、「ヨーロッパの移民危機とISISのテロ行為により、欧州諸国と中東諸国で、新規のインフラ事業や政府案件が増加している」と言う。

特定の事件が市場の変化を誘発したというよりも、世界中で散発的に発生した様々な出来事が積み重なった結果だという意見もある。

アクシス・コミュニケーションズAB社グローバル・セールス担当副社長ボディル・ソネッソン氏は「変化の原因として、何か1つの事件を挙げることはできない。広範囲に及ぶ政治、経済、文化的な要因によって、残念ながら世界はますます安全でなくなっていることを我々は痛感している。しかし、画質の向上やスマートアナリティクスなど、監視テクノロジーも改良されている。その結果、監視の強化、事件の解決、攻撃の防止といった点で社会に貢献しつつある」と語る。

しかし、求められているのは単なるセキュリティ・ソリューションの増強だけではない。ほとんどの顧客企業が安全上の懸念と並行する形で、低調な世界経済の見通しに対処する必要に迫られているため、投資利益率の向上に繋がるカスタマイズされたソリューションが必要になる。

### 市場の需要から生まれるソリューション

セキュリティ業界に見られる最大の変化は、従来の分野別の境界線が消え、隣接する分野と融合しつつあることだ。それを

具体的に物語るのが、ビル情報システム(BIM)、小売業などの分野におけるビジネス・インテリジェンス(BI)、交通パターンや人の流れの分析といったコンセプトの出現だ。

ソネッソン氏によると、高度化した映像解析と、IP映像監視と他のシステムの統合によるIoT(モノのインターネット)の形成が、こうした変化の主な要因だ。

「当社は、今年1年を通じて全ての市場選択と業種において、高度な映像解析ソリューションの需要が増加しているのを実感した。例えば、小売業界では、映像解析により得られた情報をビジネス・インテリジェンス、ビジネス解析ソフトウェアに投入し、処理している。市街地監視や交通監視では、銃声などが発生すると、音声解析によりカメラにアラームが送られ、視覚的な識別を行うことができる。重要基盤では、サーマルカメラにより侵入者を検知し、超低光量カメラとシームレスに連繋して、詳しい識別や分類を行うことができる」とソネッソン氏は語る。

サイネクティクス社CEOポール・ウェブ氏によると、今年のセキュリティ業界が進んだ方向を一言で表せば「統合」だという。セキュリティ・ソリューション同士が連繋して動作すると、各システムを別々に運用するよりも、遙かに効率が高まる。そのため、安全とセキュリティの分野で、このアプローチを推進することができる、オープン・アーキテクチャの監視用コマンド、コントロール・ソリューションの需要が著しく増加している。

一方、機器については、一部市場で極めて鮮明な監視映像のニーズが高まっている。

「統合型ソリューションのニーズに加えて、高鮮明な画像が得



アクシス・コミュニケーションズAB社  
グローバルセールス  
担当副社長  
ボディル・ソネッソン氏



IDIS欧州社  
常務取締役  
ブライアン・ソング氏



サイネクティクス社  
CEO  
ポール・ウェブ氏



ヴェリント・システムズ  
社マーケティング担当  
副社長  
ケヴィン・ワイン氏

られる監視システムも必要とされる市場分野がある。これは、HD IPカメラの需要の増加に伴い、生じた傾向だ。例えば、カジノでのゲームテーブルを撮影するカメラは、一般的な接客業ではまず問題とされない仔細を捉える能力が必要だ」とウェブ氏は言う。

セキュリティ市場で見られるもう1つの大きな動きは、従来は関心が低かった分野での需要の増大だ。ウェブ氏によると、石油やガスなどの分野では常にセキュリティ・ソリューションが必須だったが、教育や運輸などの分野で新しいテクノロジーが求められる傾向が高まっているという。これは、教育機関で何度か銃乱射事件が発生している最近の情勢と無関係ではないだろう。

「幸いにも銃の乱射はめったに起こることではない。しかし今年も、米国以外でも世界各地で悲劇的な事件が起こった。2011年ノルウェーのウトヤ島のサマーキャンプで発生した銃乱射事件はいまだに記憶に新しいし、2015年4月にケニアのガリッサ大学でも同様の事件が起こった。現在は、世界中の大学で銃器の発砲に対する施策が導入されている」とソング氏は語る。

このような施策の導入にあたり、多くの教育機関が既存のセキュリティ・システムでは不十分だと気づき、アップグレードを検討している。このような新たな分野での需要の増大は、セキュリティ市場の広がり、ネットワーク化されたコネクテッドな社会への動きを示している。

### よりスマートな社会への世界的な動き

2015年、よりスマートなアプリケーションへと向かう強力な動きが世界中で見られた。消費者レベルのスマートホームから行政レベルのスマートシティまで、1つのプラットフォームで管理できる統合型システムへの関心が高まった。

MOBOTIX社経営戦略責任者(CSO)トリスタン・ハーゲ氏は、「単純な区域監視を超え、付加価値を備え、よりスマートなIP映像監視を指向する傾向がある。例えば、ドアのインタフォンと



石油価格の低迷で、石油/ガス業界や経済を石油に頼る国々で需要が後退している。



IP映像の組み合わせは、要件としてより一般化している。もう1つの例として、人間のオペレータがいなくても、行動を自動的に分析してアラームやイベント・トリガを生成するシステムがある」と語る。

タイコ・セキュリティ・プロダクツ社成長市場&地域戦略担当上級取締役レオン・ラングレイス氏によると、今の顧客は単に高度なセキュリティだけでなく、業務の改善やビジネス上のメリットに繋がるものを期待している。

「スマートシティはこのタイプの統合の完璧な例だ。1つの総合的なシステムとして都市を管理すれば、広範囲にわたって効率が向上し、特に警察の効率的な対応が容易になる。最終的には、ほとんどの都市がスマートシティになるだろう」と同氏は言う。

ソネッソン氏は、これが将来に向けての主要な動向であり、そこでネットワーク映像システムが重要な役割を果たすようになると期待する。

「ネットワーク映像システムは、現在のような安全目的だけでなく、スマートシティを実現する上で重要なデータを提供する、スマートセンサの役割を果たすようになる。今後は、ネットワーク映像システムが都市におけるIoTのバックボーンになり、スマートシティ・アプリケーションの開発の基盤になるだろう」とラングレイス氏は言う。

ウェブ氏も同意見で、スマートシティのようなコンセプトの重要性は、大勢の人々が集まるイベントで特に顕著になる場合が多いと指摘する。

「ラグビーワールドカップのような大規模なイベントがあると、スマートシティ技術の重要性に注目が集まる。関連部署間における視覚データ、聴覚データ、数値データの効率的な共有を可能にする、進化した統合型の監視用コマンド、コントロール・ソリューションを核として使用すれば、強力なツールになる」と同氏は言う。

ヴェリント・システムズ社マーケティング担当副社長ケヴィン・ワイン氏は、今起こりつつあることを大衆が瞬時に伝達し、当局がその情報を利用できるようにしたいという要求が高まっていると言う。各種テクノロジーのプラットフォーム1つへの統合は、このようなニーズの結果だ。業界の自然な進化のように見えるが、用途の観点から見ると従来のセキュリティ・システムの範囲を超えている。

「新しいテクノロジーは、スマートフォン・ユーザが送信する情報を取得し、実用性のある情報化に変換する。市民が関わり、スマートフォンを使用して事件を通報することで、公衆安全の専

今の顧客は単に保護だけでなく、業務の改善に繋がるセキュリティ・ソリューションを期待している。」

門家に情報を提供し、日常的な危険、不審な動き、自然災害、テロ攻撃、犯罪、破壊活動に対処できるようになる」とワイン氏は話す。

このようにソリューションを統合し、より多くの人々が利用できるようにする取り組みから、必然的にもう1つの結果が業界にもたらされた。M&A(合併と買収)の増加だ。

### 統合を視野に入れたM&A

セキュリティ業界では2015年、相当数の大規模なM&A活動が見られた。キヤノン社は2015年、2014年のマイルストーン・システムズ社の買収に続いて、アクシス・コミュニケーションズAB社を買収した。これに追随して、最近、ナイス・システムズ社が物理セキュリティ事業部門をバッテリー・ヴェンチャ社に売却するなどの取引も行われた。

このような大手メーカー同士の結束は、個別のシステムに起因するセキュリティの隙間を埋め、費用対効果を高めるのに有益だ。しかし、ヴィーコン・インダストリー社CEOエリック・ファラトン氏は、このような業界統合の結果、一部の企業が顧客を自社の独自仕様ソリューションに囲い込もうとする動きが見られると指摘する。言い換えると、顧客が以前のように自由にソリューションを選べる余地がなくなっている。

「エンドユーザの立場からすれば、市場が最先端のソリューションを必要なものだけ自由に選択することができる完全なオープン・スタンダードに向かって進化するべきだと私は強く信じる。重要なのは、ソリューションをどのようにパッケージ化するかではなく、どのようにサービスを提供するかだ」と同氏は言う。ハーゲ氏も同様に、大規模なM&Aに伴い独自仕様ソリューションへの囲い込みの懸念が大きくなっていると指摘する。

「キヤノン社とアクシス社の合併、そしてマイルストーン社への影響を見ると、オープン・プラットフォームに対する市場全体の評価が後退するのではないかと少し心配になる」と同氏は言う。

スマートシティのような試みは、技術的な利点を抜きにしても、景気刺激策を大いに必要としている世界経済にとってメリットが大きい。実際、セキュリティ市場は、成長への兆しが見えるとはいえ、石油価格の下落のような経済的問題が依然として影を落としているのは事実だ。



システム統合の必要性から、今年は大規模なM&Aが相次いだ。

### 持続する経済上の懸念による需要の牽引

米国での石油生産量が過去6年間でほぼ2倍になったことを受け、最近では世界的な石油価格の著しい下落に注目が集まっている。回復の兆しが散発的に見られるとはいえ、石油価格は長期にわたって低迷する懸念があり、今後はこの傾向がごく当たり前になるというのが多くの専門家の見解だ。

セキュリティ業界の立場からすると、石油/ガス業界や、経済成長を石油に頼らざるを得ない国々では、最近の破壊的な市場の動きは明らかにマイナスの影響を及ぼしている。しかし、ウェブ氏によると、懸念すべき状況ではあるが大荒れの空模様の中でちらほらと光が射しつつあるという。

「石油/ガス企業は、厳しい経済環境でリスクの見直しと事業の統合に取り組まざるを得なくなっている。これを企業レベルで見ると、シェルによるBGグループの買収やフォスター・ホイーラ社とAMEC社の合併など、M&Aという形で現れている。どちらも、リスクの軽減、市場部門の獲得、スキルやテクノロジーの獲得を目指す企業行動の例だ」とウェブ氏は説明する。

ただし、同氏によると、実用や運用のレベルでは、どのよう

な投資でも既存資産を拡張することに重点が置かれているため、セキュリティ市場にとり商機になるという。

### 統合で切り拓く未来

2015年に起こった様々な出来事が未来の兆候だとすれば、セキュリティ市場の需要は増大するだろう。この点については市場分析専門家も認めており、安全に対する世界的な懸念とその対策を指摘している。

ただし、石油価格の低迷などの懸念事項が引き続き相当な逆風になり、成長のペースは抑え気味になると予測される。セキュリティ企業は、環境の変化へのさらなる適応を迫られるだろう。具体的には、顧客の多様化、新しいテクノロジーの採用、新しい市場への進出が考えられる。

基本的に、セキュリティ業界にとり、さらに波乱の多い年が続く懸念がある。整理統合が続き、市場は成熟度を増していく。その結果、部門の境界はさらに不明瞭になり、他のテクノロジーとの統合が進んで行くと予測される。



# セキュリティ企業、 IoTを積極的に推進

ネットワーク対応機器を続々とインターネットに接続し、ユーザにとって貴重なデータが生成されている現在、IoT (モノのインターネット)が脚光を浴びている。セキュリティ企業もこの潮流に注目し、ネットワークへの接続性や統合性に優れたユーザ・フレンドリな製品を作ることで、IoTへの適応に努めている。Security 50掲載の数社が、IoTについての考え方やこの大ブームの渦中を生き抜く方策を語った。

●ウィリアム・バオ 著

IoTという用語が最初に使われたのは、1999年に英国の企業家ケヴィン・アシュトン氏が、RFID機器を接続した世界規模のネットワークのコンセプトの説明時だった。今日、安全都市からスマートビルまで、我々の生活の様々な部分にIoTが入り込み、この接続の構想は紛れもない現実になっている。ガートナ社の最近予測では、2020年には250億台もの接続機器が使用される見通しだ。

## セキュリティとIoT

この状況は、セキュリティ企業にとって何を意味するのだろうか？ まず言えるのは、物理セキュリティがIoTと複雑に結び付いていることだ。セキュリティがIPに移行し、全ての機器をインターネットで統合できるようになった段階では特にそうだ。ダファ・テクノロジー社製品担当マネージャのアレン・リウ氏は、「セキュリティ製品はIoTの一部だ。映像監視、携帯機器、アクセス・コントロール、アラーム・システムは、いずれもIoTに結び付き、我々の日常生活を取り囲んでいる」と言う。

マイルストーン・システムズ社インキュベーション&ベンチャ担当副社長ラズ・ノルデンランド・フリース氏は「携帯電話、自動車、冷蔵庫などがセンサのソースになっているのと同様に、セキュリティ機器は『センサ』としてIoTに結び付き、我々の生活に欠かせないデータを発信する。こうしたテクノロジーを1つにまとめた共通のスレッドが構成機器として接続され、複数の構成機器が全体として統合され、効率的に動作する」と語る。

インターネット上に存在するネットワーク対応の各種機器を統合することで、セキュリティの向上、情報化の強化、使用者体験の改善など、多くの利点が得られる。

## セキュリティ機能の拡張

映像監視、アクセス・コントロール、侵入アラームなどのシステムを統合すると、セキュリティに新たな層が加わり、施設への侵入や脅威の脆弱性がそれだけ低下する。「従来のアクセス・コントロール・システムは、偽造ICカードや偽の指紋を使用して破ることができた。現在は、セキュリティ業界がより用心深くなり、防犯ベル、アクセス・コントロール、その他の部品を映像監視に統合するようになった」とリウ氏は言う。

アクシス・コミュニケーションズAB社共同創業



ネダップ・セキュリティ・マネジメント社  
営業責任者  
アルジャン・ポータ氏



アクシス・コミュニケーションズAB社  
共同創業者  
マーチン・グレン氏

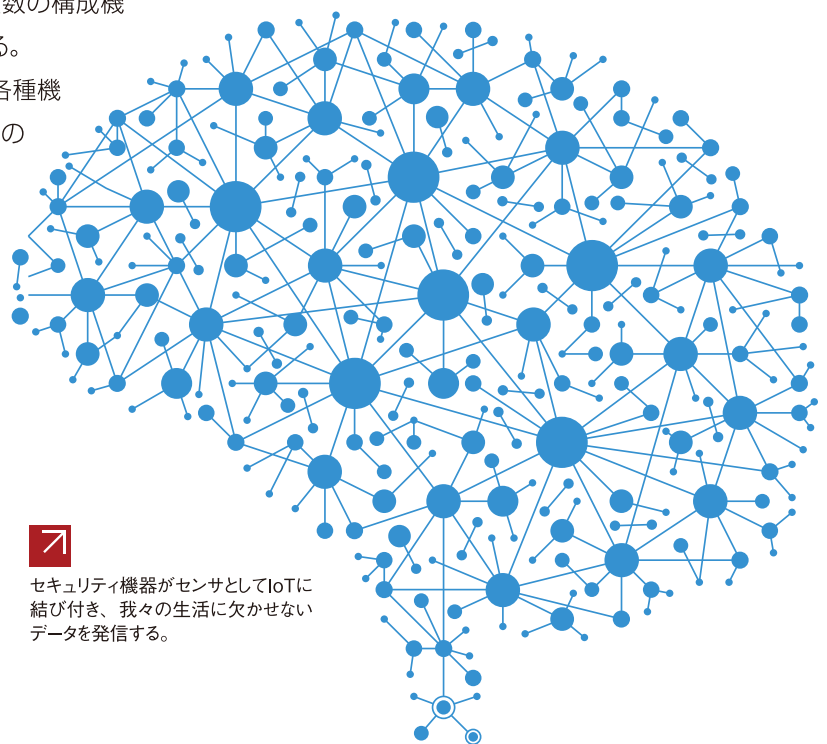


ダファ・テクノロジー社、  
プロダクトマネージャ、  
アレン・リウ氏

者マーチン・グレン氏は「映像監視を行うだけのカメラでは、カメラに映った人物に声を掛けることができないため、能力が限られる。統合型のホーン・スピーカを追加すれば、用もなくうろついている人物、立入禁止区域に入り込んだ人物、不審な動きをする人物と実際にやり取りすることができる。しかも、映像を管理するのと同じシステムでそれが可能で、別のシステムやインタフェースに切り替える必要がない。最近の調査によれば、誰かが自分を見ていると意識すると、一般に74%の人間が不法な行為をやめると言われている。ホーン・スピーカが設置されていれば、侵入者や不審者は自分が観察下にあることを強く自覚するようになる」と語る。

## インテリジェンス

IoTの出現により、セキュリティは人命や財産を守るだけに留まらず、遙かに多くの役割を担うようになる。セキュリティ機器から生成される大量の良質なデータを抽



セキュリティ機器がセンサとしてIoTに結び付き、我々の生活に欠かせないデータを発信する。

出、分析し、ビジネス・インテリジェンスを強化することができる。

例えば、小売業で店舗やスーパーマーケットに設置したカメラの果たす役割は、盗難防止の目的から、買い物客が最も頻繁に立ち寄る通路はどれか、特定の場所で買い物客はどの方向を見ているかなど、顧客行動の調査へと広がっている。こうして得たデータを、販売やマーケティングの意思決定に活かすことができる。

Avigilon社グローバル製品マーケティング担当取締役ウィリアム・リャン氏は、「IoTの導入を成功させるには、単にデータを収集するだけでは不十分だ。データを情報に変換し、ビジネス価値のある知見を提供する明確な手法が必要だ。よりスマート化した先端機器と、収集したデータを情報として提示するソフトウェアやプラットフォームを併用することで、最終的に貴重な知見をユーザに提供できるようになる」と語る。

データの分析をクラウドで行うケースが増えつつある。「データを現場からサービス型の中央コンピューティングに移転する



Allegion社  
接続プラットフォーム  
担当取締役&フュー  
チャリスト、  
ロブ・マーテンス氏



インキュベーション社  
ベンチャー担当副社  
長ラース・ノルデン  
ルド・フリース氏

のが今のITの潮流であり、この流れに乗らなければならない。この理念では、集中型で実質的に無限のクラウド・コンピューティング能力を利用して、非集中型で分散した映像統合ソリューションをプライベートあるいはパブリック・クラウドで1つのシステムとして動作させ、あらゆるタイプのインテリジェント・センサをネットワークで接続することができる」とフリース氏は言う。

### 利用者体験(ユーザ・エクスペリエンス)

IoTの世界で、セキュリティが大きく貢献するのは利用者体験だ。例えば、スマートビルではアクセス・コントロールとビル管理システムを統合すると利便性が高まる。コマックス社R&Dチーム責任者チュル・ホン・



あらゆる機器が接続されるとデータの脆弱性が高まるため、サイバー・セキュリティを強化することが重要だ。

パク氏は、「現在では、家庭やオフィスビルの室温や照明を最新技術で制御できるようになっている。ホームオートメーションシステムで、帰宅時に自動的に照明が点灯し、外出時に消灯するよう設定すればいい」と言う。

Allegion社接続プラットフォーム担当取締役&フューチャリストのロブ・マーテンス氏は、「IoTの最も基本的な形式では、利用者体験の向上を重視する。利用者体験の向上は、接続した多くの機器が連繫し、協調して動作することによって実現する。セキュリティ企業がIoTを推進している理由は、機器やサービスの進化だけでなく、業界全体としての利用者体験の進化にも繋がるからだ」と語る。

### いかに適応するか

セキュリティとIoTの結び付きが強まるにつれ、メーカ各社は、この必然的な潮流に対応する上で欠かせない変更や調整を行っている。例えば、一部のメーカはIP製品のラインナップを拡充し、セキュリティ・システムの機能を拡大している。世界初のネットワークカメラを世に送り出したアクシス社もそうしたメーカの1つだ。

「当社は約2年前の2013年に、ネットワークに接続する物理アクセス・コントロール・システムを発表し、IoT接続機器の範囲をカメラ以外にも拡大した。他にも、IPホーン・スピーカ、IP映像ドア・ステーションなどを発表し、拡大を続けている。あらゆるタイプのセキュリティや監視だけでなく、ビル管理機能などにも対応するIPベースの相互に接続されたシステム、つまりIoTがこの業界の今後の方向だと思う」とグレン氏は語る。

同じ趣旨で、ダファ社リウ氏も「当社はより総合的なソリューションの開発に注意を払うようになった。映像インタコム、アラーム、アクセス・コントロールなど新しい製品ラインナップを既に発表済みだ」と言う。

Allegion社マーテンス氏は「顧客のIoTの領域への移行を補完、支援する様々な新製品、ソリューションを開発した。住宅向けでは、高度な最新技術を組み込んだ当社のドア装置は、変化の激しい消費者環境で様々なサービス・プロバイダとの連携が可能だ。集合住宅用にはシュレイジ・コントロールというソリューションがある。利便性の高いスマートカードと携帯電話による認証機能を採用し、従来の鍵が不要となり、効率と施設の魅力が高まる。このソリューションは、オープン・アーキテクチャ設計で、居室のドアと共用区域のドアを同じシステムで管理することができる」と語る。

IoTの採用を成功させるには、最高技術責任者と施設管理者の関係作りを支援することが極めて重要だ。

スマートホームの分野で事業を展開するエヴァスプリング社は、IoTの到来とともに戦略的な再ポジショニングを行い、自らを、機器メーカではなく、ソリューション・プロバイダと位置づけた。エヴァスプリング社システム開発ビジネス・センタ部長ケヴィン・ワング氏は「IPベースの製品、自社構築のクラウド・サーバ、革新的なアプリケーション・ソフトウェアへの転換を行い、様々なチャネルの消費者、システム・プロバイダに対応するトータル・ソリューションを提供している。エヴァスプリング社のソリューションは、どのような対象市場でも、市場に合わせた情報化した利用者体験、消費者の立場に立った設置のしやすさと使いやすさ、工事業者の立場に立った堅牢性、サービス・プロバイダ側に立った遠隔からの管理のしやすさを追求している」と語る。

IoTの枠組みの中で、セキュリティ機器がシームレスに動作するには、オープン・スタンダードが不可欠だ。ネダップ・セキュリティ・マネジメント社営業責任者アルジャン・ポータ氏は「通常、アクセス・コントロール・システムは長期間利用されるので、システムの耐用期間が終わらないうちに新しいセキュリティ技術が導入されるのはほぼ確実だ」と言う。

さらにポータ氏は「当社のソフトウェア・ベースのセキュリティ管理プラットフォームは、オープンなIT標準規格に基づいている。当社は、セキュリティ・システムの需要の複雑化に伴い、システムの調整をより簡単に行えるようにする必要があると認識している。当社のセキュリティ管理プラットフォームは、ソフトウェアを使用して機能を決定できる多機能な制御機器を基盤としており、今後のセキュリティ要件を完全に満たす態勢が整っている」と語る。

コマックス社も、標準化の推進役を自認している。「当社は、無線ネットワーク技術Zigbee、Wi-Fi、BLEをサポートしており、新しいセンサや作動装置はこれらの標準規格に基づいている。これらの各種ワイヤレス・プロトコルを管理する統合型プラットフォームとクラウド・サーバも開発した。シームレスに情報を共有する相互接続機器を提供するのが当社の目標だ」とパク氏は言う。

### システム構築者の役割の変化

ベンダだけでなく、セキュリティ・システム構築者、代理店、

コンサルタントにも果たすべき重要な役割がある。特に、IoT対応の施設ではITと物理セキュリティの連携が必要になる。それを実現可能にする工事業者は、市場で真の価値を認められるだろう。

「アクセス・コントロールの世界でIoTの普及を促進するには、最高情報責任者(CIO)と施設管理者の関係作りを支援することが極めて重要だ。この業界の必然的な流れとして、IoT中心の考え方に移り変わっていく中で、代理店や構築者にとって、CIOに物理セキュリティを理解してもらい、施設管理者のスマート機器技術の知識不足を補うことが成功への差別化要因になるだろう。この中核的な集団がIoTのコーディネーション拠点になり、CIOと施設管理者の間で、信頼される知識豊富な調停者の役割を果たす必要がある」とマーテンス氏は語る。

この点についてはフリース氏も同意見だ。「システム構築者とメーカーのどちらでも、IoTは市場機会を広げる役割を果たす。視覚化、管理、検証といった目的でIoTを導入し、その中核部分で映像と統合するには、IPの知識のある人材が必要になる」とフリース氏は言う。

## 課題

あらゆる機器を接続すると、ネットワーク上に保存するデータは、不正アクセスやハッキングに対して脆弱になる。実際、ベビー監視やネットワーク・ストレージへの侵入が何回か発生し、こうした懸念が裏付けられているため、サイバー・セキュリティの強化策が重要だ。

「システム・プラットフォームを採用する場合、強力なセキュリティ・プロトコルやセキュリティ機能を組み込んでいることが必須条件だ。セキュリティ・サブシステムでは、最低でも何らかの認証プロトコルと暗号化プロトコルが必要だ。これらのプロトコルは強力かつスマートで、ユーザに負担のかからないものでなければならない」とワング氏は言う。

「企業は多層防御アプローチを採用する必要がある。そうすれば、攻撃者がある層の障壁を突破しても、そこから先に進む可能性は低くなる。強力なパスワードの使用が、データ・セキュリティの第一線だ。第二の防衛線は最新の状態のソフトウェアで、IoT機器の場合は最新のファームウェアが必要になる。もう一つ



コマックス社  
R&Dチーム責任者  
チュル・ホン・パク氏



Avigilon社  
グローバル製品  
マーケティング担当  
取締役  
ウィリアム・リャン氏



エヴァスプリング・  
インダストリ社  
システム開発  
ビジネス・センタ部長  
ケヴィン・ワング氏

の重要な防御策は、機器のファームウェアの改竄の防止だ」とリャン氏は語る。

## IoTの未来

IoTを巡る過熱した宣伝と現実との間には、現段階ではまだ明らかにギャップがある。「最近のある調査によると、70%以上のIT専門家が、IoTは消費者とビジネスの両方にインパクトを与えると考えているが、実際の業務や投資予算の観点から積極的にIoTに取り組んでいるという回答は3分の1に過ぎない」とフリース氏は言う。

しかし、最新技術と帯域幅のコストが下がり、付加価値のあるデータが大量に発生することで、IoTがいずれ爆発的に成長するのは明らかで、その過程でセキュリティ企業に新たな機会が巡ってくる。現在のアクセス・コントロールの読取装置や制御装置は既にインテリジェント化しており、スマート機器を使用して、世界中どこからでも制御できる。物理アクセスが論理アクセス、ビル管理システムとリンクし、より効率的な管理手段が確保される。近い将来、行動ベース、仕草ベース技術により、ユーザがウェアラブル機器を使用してドアを開けられるようになる。

「明らかにコモディティ化した既存のセキュリティ機器の多くが、この新しいセンサ・ベース技術の出現により再活性化している。IoTの世界は常に変化し日々成長している」とマーテンス氏は言う。

このような潮流の渦中において、セキュリティ企業各社は、直感的に使用することが可能な統合型の多様な製品を提供し、IoTを推進している。2020年には250億台の機器が使用されるようになる予測されており、IoTが今後の方向性であることは間違いない。この潮流を受け入れないセキュリティ企業が、市場で存在意義を失うのは明らかだ。



明らかにコモディティ化した既存のセキュリティ機器の多くが、IoTの出現で再活性化している。

## SECURITY 50 2015年ランキング表(2014年売上額より作成)

2015年 順位	2014年 順位	社名	本社	製品分類	2014年 売上額百万米\$	2013年 売上額百万米\$
1	1	Honeywell Security	米国	総合	2,800.00	2,700.00
2	3	Hikvision Digital Technology	中国	映像監視	2,528.90	1,605.90
3	2	Bosch Security Systems	ドイツ	総合	1,700.00	1,646.70
4	4	Safran (セキュリティ部門)	フランス	総合	1,341.60	1,295.00
5	6	Dahua Technology	中国	映像監視	1,145.30	845.1
6	5	Assa Abloy	スウェーデン	入退管理	845.9	759.7
7	10	Tyco Security Products	米国	総合	760.0	650
8	7	FLIR Systems (監視&セキュリティ部門)	米国	映像監視	671.3	672.3
9	9	Samsung (現 Hanwha Techwin)	韓国	映像監視	650.3	658.1
10	8	Axis Communications	スウェーデン	総合	639.7	553.6
11	11	Allegion (電子機器&入退管理)	米国	入退管理	423.7	439.6
12	12	Aiphone	日本	入退管理	334.0	341.7
13	13	TKH Group (映像&セキュリティ・システム)	オランダ	総合	281.7	265.8
14	16	Avigilon	カナダ	総合	207.1	136.1
15	15	Nice Systems (セキュリティ部門)(Qognifyから社名変更)	イスラエル	総合	202.3	193.9
16	14	Nedap	オランダ	総合	170.4	169.5
17	18	Infinova	米国	映像監視	153.0	150
18	17	Optex (センサ製品部門)	日本	侵入検知	145.0	131.5
19	21	Verint Systems (映像情報のみ)	米国	映像監視	110.4	120.4
20	19	VIVOTEK	台湾	映像監視	107.0	121.8
21	20	Tamron (民生&産業用光学)	日本	レンズ	101.7	99.1
22	23	IDIS	韓国	映像監視	99.3	99.5
23	24	Commax	韓国	総合	92.7	85.6
24	26	KOCOM	韓国	総合	87.6	80.6
25	22	Mobotix	ドイツ	総合	87.1	95.8
26	31	DynaColor	台湾	映像監視	83.7	70.8
27	36	Napco Security Systems	米国	総合	74.4	71.4
28	32	GeoVision	台湾	映像監視	68.8	70
29	33	Milestone Systems	デンマーク	映像監視	68.0	60.4
30	29	Geutebruck	ドイツ	映像監視	67.6	64.2
31	34	SimonsVoss Technologies(2015年Allegionが買収)	独	入退管理	61.7	59.7
32	25	Hitron	韓国	映像監視	61.1	81.9
33	27	AVTECH	台湾	映像監視	59.4	81.7
34	42	Suprema	韓国	入退管理	58.3	45.6
35	40	IndigoVision	英国	映像監視	58.2	50
36	28	ITX Security	韓国	映像監視	57.1	69.9
37	43	Dali Technology	中国	映像監視	56.6	40.8
38	37	HDPRO	韓国	映像監視	55.9	60.3
39	35	EverFocus Electronics	台湾	総合	50.8	67.5
40	30	Synectics (システム部門)	英国	映像監視	49.9	70
41	41	Fermax	スペイン	総合	49.1	44.4
42	38	CNB Technology	韓国	映像監視	40.4	55.7
43	47	Magal Security Systems (外周製品)	イスラエル	総合	37.6	30.6
44	45	Vicon Industries	米国	総合	34.9	39.8
45	44	INCON (旧Win4Net)	韓国	映像監視	32.7	35.4
46	46	C-Pro Electronics	韓国	映像監視	32.5	33.6
47	50	Everspring Industry	台湾	総合	30.3	20.7
48	49	Hi Sharp Electronics	台湾	映像監視	23.6	27.8
49	48	Hunt Electronic	台湾	映像監視	22.8	28
50	*	Hanyang Hitao (旧Huviron)	韓国	映像監視	19.4	17.1
合計					16,940.8	15,214.6
平均						



2014年 売上額伸び率	2014年 利益額伸び率	2014年 粗利益伸び率	2015年 上半期売上額	2014年 上半期売上額	前年同期 売上額伸び率	前年同期 利益額伸び率	2015年上半期 成長率
3.7%	*	*	*	*	*	*	*
57.5%	53.8%	32.2%	1,461.4	914.6	60.0%	53%	28%
3.2%	*	*	*	*	*	*	*
3.6%	*	*	776.8	633.6	23.0%	*	*
35.5%	11.3%	17.1%	541.9	475.3	14.0%	-4%	15%
11.4%	*	*	514.8	380.4	35.0%	*	*
16.9%	*	*	*	*	*	*	*
-0.1%	*	*	319.6	310.7	3.0%	*	*
-1.2%	*	*	*	*	*	*	*
15.5%	16.1%	51.8%	348.7	291.5	20.0%	20%	52%
-3.6%	*	*	*	*	*	*	*
-2.2%	*	*	*	*	*	*	*
6.0%	*	*	188.4	132.0	43.0%	*	*
52.2%	58.9%	56.6%	126.1	92.3	37.0%	43%	59%
4.3%	*	*	*	*	*	*	*
0.5%	*	*	*	*	*	*	*
2.0%	-29.7%	3.8%	114.2	57.7	98.0%	*	*
10.3%	*	*	79.9	70.9	13.0%	*	*
-8.3%	*	*	61	55.5	10.0%	*	*
-12.2%	*	*	59.4	54.8	8.0%	*	*
2.6%	*	*	50.8	49.5	3.0%	*	*
-0.1%	*	*	57.1	48.3	18.0%	14%	36%
8.3%	-4.2%	21.6%	43.5	43.0	0 1%	8%	21%
8.7%	18.3%	26.2%	40.1	41.4	-3.0%	11%	29%
-9.1%	*	*	45.0	48.0	-5.0%	*	*
18.3%	19.7%	41.2%	33.5	36.8	9.0%	-10%	40%
4.2%	9.2%	31.9%	*	*	*	*	*
-1.6%	-5.1%	53.0%	32.3	34.4	-6.0%	-10%	52%
12.5%	*	*	*	*	*	*	*
5.3%	*	*	*	*	*	*	*
3.3%	*	*	*	*	*	*	*
-25.4%	-21.1%	5.3%	26.0	33.0	-21%	-19%	6%
-27.3%	-42.6%	29.7%	26.2	28.7	-9%	-30%	24%
28.0%	19.6%	48.4%	24.9	31.1	-20%	-20%	49%
16.3%	18.2%	57.6%	35.3	49.9	-29%	-33%	53%
-18.3%	-28.3%	18.6%	13.7	34.8	-61%	-92%	4%
38.5%	59.6%	15.9%	23.5	20.8	13%	*	*
-7.3%	-30.3%	13.7%	*	*	*	*	*
-24.8%	-22.6%	29.1%	16.4	24.9	-34%	-41%	29%
-28.8%	*	*	23.3	24.4	-4%	*	*
10.7%	13.5%	57.4%	*	*	*	*	*
-27.3%	-33.7%	13.7%	18.4	20.9	-12%	-54%	8%
22.9%	*	*	*	*	*	*	*
-12.5%	-19.7%	34.8%	20.4	15.1	35%	37%	38%
-7.8%	-22.2%	27.6%	11.3	13.4	-15%	-16%	28%
-3.2%	16.9%	22.1%	*	*	*	*	*
46.1%	52.4%	37.0%	6.9	17.5	-60%	-64%	35%
-15.1%	-4.7%	17.4%	11.4	12.5	-9%	2%	21%
-18.7%	-17.6%	36.7%	8.6	11.0	-22%	-30%	33%
13.3%	8.0%	17.8%	7.2	7.8	-8%	-19%	14%
			5,168.0	4,116.5			
4.1%	3.0%	30.0%			25.5%		

# ジェネテック社CEOピエール・ラース氏

**【Q】2015年における世界市場でのVMSの成長をどのように見ているか？ その中で、貴社の業績はどのように推移しているのか？**

**【A】**市場調査会社によると、VMS市場は2015年、世界市場では20%の成長を遂げ、当社グループは30%成長を果たすと予測されている。VMS市場は依然として成長し続けており、膨大な数の監視カメラがインストールされている。しかし、ローエンドのソリューションでは、監視カメラのコスト面が要因となって、大きな減速があったことは事実だ。カメラ・メーカー、ソフトウェア・メーカーに影響を与えている。一方、ハイエンドソリューションに関しては力強い市場が存在し、当社としても2015年の大きな成長を見込んでいる。

**【Q】日本市場は、アジアの一部であるが、欧米各国と比べると特徴が異なる。従来は、小規模な監視ソリューションが需要の大半を占めていたが、最近はカメラ100台以上のソリューションが増えてきた。おそらく2016年には、VMS市場の大きな成長が見込めるだろう。**

**【A】**当社としても、日本市場の大きな成長を望んでいる。というのは、当社は、既存のテクノロジー・プロバイダとの提携関係を強めていくだけでなく、新たな提携を結ぶことも計画しているからだ。クラウドに関しても、マイクロソフトのデータセンターを利用して、当社のクラウド・ビジネスを伸ばしていく。

**【Q】クラウド・コンピューティングは、日本市場ではまだ普及しているとはいえない。日本では、IT市場と同様に、クラウド・コンピューティングに関するコストが比較的高いが、VMS市場ではそれほどのコストはかけられない。**

**【A】**日本では、携帯電話向けのローコストの帯域のソリューションは、非常によく開発されている。クラウドが携帯電話市場のように日本市場で普及するために、コンシューマと企業にとり、どのような課題があるのかを研究しなければならない。

誤解されているが、監視ソリューション業界は、クラウドに完全移行しようとしているのではない。クラウドは、従来できなかったことを実現してくれる、一つのソリューションだ。大企業は、長期にわたり利用できるソリューションとして、迅速にクラウドを導入できるだろう。また、小企業やコンシューマ、ITテクノロ



ジーを効率的に利用したホーム・コンピューティング管理システムとして、クラウドを利用することが可能だ。わたしも自宅で20台以上のパソコンを使用しているが、それらを管理しシステムのアップデートを行い、接続性を保つことはとても面倒だ。クラウドあるいはハイブリッド・クラウドを利用したホーム・コンピューティング管理やシステム・アップデートが普及しつつある。クラウドの導入は、ゆっくりだが確実に進んでいく。

**【Q】マイクロソフトジャパンは、クラウド・ビジネスを開始しているが、日本の大企業は、クライアント・サーバ・システムをベースとしており、クラウドの導入に踏み切っていない。クラウドに関する知識、経験が十分とはいえない。一方、コンシューマ向けクラウドは動きつつある。貴社の取り組みは？**

**【A】**まず、当社としては、コンシューマにハイブリッド・クラウドを使ってもらうことが重要だ。例えばフォト・ライブラリで言えば、ライブラリのバックアップをクラウドで行う場合、果たして安全性を保証できるのかという指摘が多い。また、人々はデータの安全性もちろん、クラウドをリーズナブルな価格で機能的に利用したいと考えていることも考慮すべきだろう。

**【Q】2016年には、日本国内でもクラウドが徐々に導入されるだろう。キャノンがすでにクラウド・ビジネスを開始し、ソニーもクラウド・ビジネスに参入する予定だ。**

**[A]**日本のクラウド市場では、金融系ソリューションでの導入が中心であり、ワンボックスあたりのコストが高価で、全ての監視ソリューション向けに最適とは言えない。

**[Q]**テクノロジーの世界では、技術革新が進み市場は拡大する一方で、プレーヤーが淘汰されることが多い。VMS市場でもこのような動きが顕著になるのか？

**[A]**投資額の低下や厳しい競争環境などで、何社かのVMSベンダが、市場に対応できなくなっていくことは止むを得ない。

**[Q]**貴社のように、数多くのソフトウェアとハードウェアのエンジニアを擁するVMSベンダは世界に数社しかないが、今後数年にわたりジェネテック社に対抗できるベンダは少ないのではないのか？

**[A]**VMS市場では、数多くの企業が製品を提供してきたが、その多くが衰退した。中小のVMSベンダは、市場に参入することは比較的容易だが、生き残るのは容易ではない。スプレッドシートを例に挙げれば、Microsoft Excellに対抗できる製品を提供することが難しいのと同様に、後発のVMSベンダが成功することは困難だろう。当社は、数多くのエンジニアを擁し、とくにソフトウェアに注力している。そして、最先端の録画技術、音声、ミッション・コントロール、アクセス・コントロールなどの開発に常に取り組んできている。

**[Q]**市場占有率について、各社により主張が異なることがある。例えば、導入システム数、導入したチャンネル総数、1システムあたりの平均チャンネル数など、様々な項目に基づいたデータについて発言している。これについて、貴社はどのような判断をしているのか？

**[A]**当社は、非上場企業であり、市場占有率に基づいて経営判断を行うことはない。占有率は確かに重要な指標であるが、当社は、顧客にとって価値のある機能を提供すること、そして当社の事業推進のために真に価値のあるソリューションを提供するという観点から経営判断を行っている。

ヒューレットパッカートの創業者の1人であるデイビッド・パッカー氏は、自社の技術者に対して「顧客を喜ばせなければならぬ」と言っていた。街のレストランでも新しい創造的な料理を



提供すれば、多くのお客がやってくる。同様に、当社も顧客が求め、喜んでくれるソリューションを提供する、という点から経営判断を行っている。

**[Q]**VMSについて、メディアがベンチマークテストを行うことは難しいが、エンドユーザにとり、ベンチマークは有用ではないか。

**[A]**エンドユーザは、当社システムの消費電力が同等の他社のシステムの半分だといっても、それほどの関心を示してはくれない。それよりも、ここ2年間でシステムの信頼性、可用性が向上し、たとえばエンドユーザが満足する可用性を実現した場合は、高く評価される。

当社は、ソフトウェアのみで高いグラフィック・アクセラレーションを実現している。1台のPCとグラフィックカード1枚で4台の4Kカメラの画像を表示することができる。2枚のカードで8台の4Kカメラ、7枚のカードで28台の4Kカメラの画像の表示も可能だ。4Kが不要なユーザなら、1台のPCで300台のHDカメラの画像を表示することができる。このようなグラフィック・アクセラレーションをユーザのニーズに合わせて、チューニングし、機能を最大限に利用することができる。ユーザが求める可用性を実現していることは、単なるスペックに関するベンチマークからではわからない。

**[Q]**最近の世界で活発になっているテロ活動に対して、貴社製品に新たな機能を付加する考えはあるのか？

**[A]**テロを抑制するには、2つの側面がある。テクノロジーの面

からは、機器の性能を含めて、セキュリティ・システムのスキルを上げることが考えられる。しかし、真に重要なのは教育面での戦略だ。暴力を容認する考え方を教育により排除することだ。テクノロジーの面だけでは、録画の長時間化やカメラの解像度を高めることで、市民のプライバシーを守ることはできるが、テロリストが市民の生命を狙うことから守れない。

**【Q】2015年に貴社は様々なハードウェアおよびシステム企業との連携を発表している。このような活動は今後もさらに推進するのか？**

**【A】**当社は、台湾におけるVivotek社との連携と同様に、日本でも複数企業との連携を計画している。それらの先端技術を持つ企業とは、今後とも関係を深めていく。ソニー、パナソニックとは既に協力しているが、その他の大企業との連携も考慮していく。中国のカメラメーカーは、主にローエンド製品を提供しているため、当社との連携の対象から外している。

**【Q】その一方で、相手先であるハードウェア企業がシンプルなVMSを発表し、ワンストップ・ソリューションとオープン・アーキテクチャを使い分けている。これに対する貴社の見解は？**

**【A】**2つの点を指摘しておきたい。何社かのカメラメーカーは、中国などを中心に価格面の制約から、無償の画像管理ソフトウェアを提供しているが、ビジネスとして成立していくかは疑問だ。また、ワンストップショッピングは、エンドユーザーにとって便利ではあるが継続性がない。今日はいいが、明日は高くつく。ワンストップショッピングは、短期的な考え方であり、長期のトレンドにはならないと考えている。

**【Q】アジア市場では、アナログとデジタルとの対決でなく、IPとHD-Coaxialとの対決に変化しつつある。この動向に対する貴社の見解は？**

**【A】**ユーザーは、今後、アナログカメラを新規に導入することはほとんどないだろう。HD-Coaxialは、既存のアナログケーブルを利用するといっても、デジタル環境で使用される点ではIPと変わりはない。しかし、HD-Coaxialは、一時的には高画質の画像を提供しても、近い将来に向けた拡張性がないので、数年でIPに切り替わると考えている。

**【Q】日本市場に貴社システムのStratocastやハイブリッド・クラウド技術を積極的に展開する予定は？**

**【A】**数年前からアナウンスしているように、日本市場にも展開していく。まず、マイクロソフト社のデータセンタが日本に置かれていることをベースに、Stratocast、クラウド・コンピューティング、ハイブリッド・クラウドのビジネスを進めていく。特にハイブリッドは、他社と異なり、顧客が0~100%までのクラウドの比率を選択できる。

当社は、オンプレミスのシステム上でも稼働する、新たなタイプのハイブリッドクラウドによるオンラインの「Security Center」を投入する。当社のチャネル・パートナー、テクノロジー・パートナーも、ユーザの新規導入に向けてクラウドビジネスを推進していく。

**【Q】貴社のSVシリーズに対する市場からの評価はいかがか**

**【A】**まず、当社が注力しているのは、トランザクション・コスト、初期導入コスト、システム・アップグレードのコストの削減だ。そのため的手段として、クラウドそしてアプライアンスがある。「SVシリーズのハイパフォーマンス・コンパクト・アプライアンス」は、大小2つのタイプがあり、顧客の様々な作業をシステムの外部で行えるようにする。SVシリーズにより、王立カナダ騎馬警察の事例では、カナダ全土にわたるシステムをわずか4時間でインストールすることを可能にした。

**【Q】昨年のインタビュー時に2015年にエネルギー分野に進出すると話していたが、その後の進展はいかがか？**

**【A】**電力、ソーラーシステム、パイプラインなどのエネルギー企業に、オンプレミスだけでなくクラウドも含めて提案している。既に南米の大規模なインターネット企業には、アクセス・コントロール、監視ソリューションを含めて導入実績がある。石油やガスなどのエネルギー系企業にも、クラウド・コンピューティング導入の事例がある。このほか、当社のクラウドは、インフラ系のテレコミュニケーション企業、ソマリア沖の海賊の監視などで活用されている。

**【Q】2016年における貴社の事業展開について、差し支えない範囲で紹介していただきたい。**

**【A】**アジアパシフィックでは、2015年は25%程度の成長を遂げたが、2016年も業績を大きく伸ばしていく計画だ。そのため、これまでに述べた内容を一つ一つ実現に向けて取り組んでいく。



# 2015年版「Security50」ランキングを発表!

今すぐ、「Security50」最新版をご覧ください!

Q [www.asmag.com/rankings](http://www.asmag.com/rankings)



「Security50」は、製品収益のみに基づいて順位付けした物理セキュリティ業界の上位50社ランキングです。「Security50」のウェブサイトは、国際的な仕入業者が上位50社を詳しく理解する上で信頼を寄せている情報源です。

# スマートセンサ・メーカーの 多様な販売戦略



●SMHome編集部

B2B供給企業には、OEMやODM企業を通じた供給や事業案件を通じた供給など、製品を供給する複数の販売チャンネルがある。B2Bの主な顧客は、通信会社、公益企業、不動産開発企業、代理店、販売会社、システム工事会社などのサービス提供企業だ。B2C供給企業は、オンライン販売と実店舗販売を行っている。具体的にはコネクテッドホーム専門店や電気店、米国ウォルマート、英国ディクソンズ、独メディア・マーケットなどの小売企業、Amazonなどの総合オンラインストア、Staples、Lowe's、Home Depotなどの実店舗小売チェーンがある。ホームキットの互換製品は、Apple Storeで販売されている。小規模企業や新興企業にとりオンライン販売チャンネルは利便性が高く、顧客からの意見反映を評価するのに有益だ。

セブンハグス社CEOステファン・ジャウベツトウ氏の意見によると、市場を牽引する主な企業は、Nest、Withings、Netatmo、Appleなど、小売業のブランド企業だ。サービス・プロバイダ各社も、このような小売市場の大手企業に追随している。ジャウベツトウ氏によると、フランスではスマートホーム市場に変化が起こりつつあるという。「専門工事会社の市場の方が大きいとはいえ、DIY小売市場が成長してきており、2~3年後には専門工事市場の規模を上回るのではないかと同氏は見ている。

ファイバ・グループは、サービス供給企業、通信会社、公益企業、システム工事会社、不動産開発企業向けにZ-Waveソリューションを、自社ブランドFibarooとして提供している。同社は、小売チャンネルも利用している。同社PR責任者エヴァ・ブヤク氏は、「プラグ&プレイ機器の大部分が、サービス供給企業、通信会社、公益企業、小売流通チャンネル向けに出荷されている」と言う。

## 重要なオンライン販売

エアボックスラボ社CEOジャクエス・トウイロン氏によると、ハードウェアの新興企業にとりオンライン小売チャンネルは、予約注文を受け付け、知名度を上げるのに理想的だ。同氏は「自社サイトで予約注文を受け付けることからスタートし、その後、Amazon.comに販路を広げた。機器のソフトウェア部分の改良に重点を置いている段階の新興企業には好都合なチャンネルだと思う。他にも、新興企業にも敷居の低い米国ブルックストアなどの店舗で、最初の何回かの市場テストを行った」と言う。トウイロン氏は、平均的な消費者は製品を見て、触って、店員の説明を聞いた上で納得する必要があると指摘する。同氏の考えによると、オンライン・チャンネルは先進的なユーザー向けなのに対して、小売チャンネルは一般消費者向けだけという。

キューブセンサ社は自社サイトで製品を直販し、米国と欧州



① 小規模企業や新興企業にとりオンライン販売チャネルは利便性が高く、顧客からの意見反映を評価するのに有益だ。(写真提供: エアボックスラボ社)

から顧客が集まっている。キューブセンサ社のCEOアレス・スペティック氏は、「限られた数量ながら、米国のAmazon.comなど、自社サイト以外のオンラインチャネルもすでに試験済みだ。最終的には実店舗販売を目指しており、代理店と取引する計画だ。製品の販路を広げ、主流製品としてアピールするには、必要な戦略だと思う」と言う。新興企業であるエディン社はhomedepot.comと米国各地のホーム・デポ店舗に加えて、数カ国のキックスタータ出資者に製品を販売している。同社は将来、米国以外にも製品の流通網を広げる計画だ。

## ブランド再生という選択肢

イオン・ラブズ社は、サービス供給企業やセキュリティ・システム企業などの顧客向けに、同社のZ-Wave製品のブランド再生(リブランド)を行っている。イオン・ラブズ社事業開発担当取締役ダニエル・ダイケス氏は「当社の顧客企業の40%以上が、当社製品のブランド再生品を選択している。当社の製品は長年、AT&Tなどの大手通信会社や公益企業で利用されてきた。今では、セキュリティ・システムの顧客企業を中心に、小規模なニッチ市場向けのプラットフォームでさえも、ブランド再生品という選択肢が選ばれている。今のコネクテッドホーム業界で最も興味深いのは、こうしたブランド再生品が市場の中で、これといった1つの分野に区別されていない点だ」と言う。

イオン・ラブズ社は、世界中のパートナー向けに自社製品をリエンジニアリングし、地域による違いに合わせた製品を作っている。スペティック氏「コネクテッドホームの潮流は、世界中どこでも変わらない。そのため、米国やEUといった本流の市場だけでなく、南アフリカやUAEなど、本流以外の市場でも当社の製品が流通している」と言う。ダイケス氏によると、最大の新興

市場は工事会社市場だという。「スマートホーム・システムは非常に成長が目覚ましく、CEDIA (Custom Electronics Design and Install Associates) タイプの工事会社が使う小型トラックには、実店舗1軒分に匹敵する量の在庫が積み込んであるほどだ」とダイケス氏は言う。

ウリアン社(Nanjing IoT)は、代理店と個々の事業案件を通じて製品を販売しており、出荷量の80%以上がこれに該当する。同社は、幾つかのB2Cプラットフォームと提携し、オンライン販売チャネルでの流通の拡大に努めている。同社は、中国の不動産会社グリーンランド社、カントリー・ガーデン社、ワンダ社、ヴァンケ社などと取引がある。ウリアン社海外マーケティング担当営業責任者ジェニファ・レン氏によると、中国では、スタータ・キットなどのDIY製品は主にオンラインとオフラインの店舗で販売されており、住宅建設会社は今のところ、全体的なシステムを好む傾向があるという。

## 新たな収益源

最終消費者と直に取引するメーカーは、1回限りの購入からの収益に代わる新たな収益源の確立に取り組んでいる。エアボックスラボ社は、バックエンド・データ処理、分析システムを独自に開発し、大気汚染の健康への影響に関するデータベースを構築する目的で、このサービスを無料で提供している。トウイロン氏は「厳密にデータのみで収益を得る新たな収益源の確立は、2~3年先を目指している。当面の間、新しいビジネスモデルは月額または年額の利用料金により機器のコストを削減することが基盤になるだろう」と説明する。

# 2015年上半期のニュースの総括 スマートホーム業界で 現在進行中の 5つの潮流

スマートホームでは日々新たな展開がある。2015年上半期の最も重要なニュース・リリースを振り返りながら、スマートホームの今後の展開を変える可能性のある、現在進行中の業界の潮流に焦点を当てる。

## 潮流1

### 主要コンポーネント業界で 止まらないM&A

1社だけで完全なスマートホーム・ソリューションを提供できる会社はないと言われる。主要構成機器の業界も事情は同じだ。スマートホームはIoTの主要アプリケーションの1つであり、主要構成機器の先導企業各社は、コネクテッドホームの世界で足場を築くため、積極的に行動している。買収は、重要な先端技術を獲得する最速の方法だと思われる。

- インテル社、ランティク社を買収、コネクテッドホームで一歩前進 (2015年2月)
- シリコン・ラボ社がブルーギガ社を買収 (2015年2月)
- NXPとフリースケール社、400億ドル規模の合併を発表 (2015年3月)
- アヴァコ・テクノロジー社、ブロードコム社370億ドルで買収 (2015年5月)
- ams社、NXPからCMOSセンサ事業を買収 (2015年7月)
- ARM社、サンサ・セキュリティ社の買収により、IoTセキュリティ機能を拡張 (2015年8月)



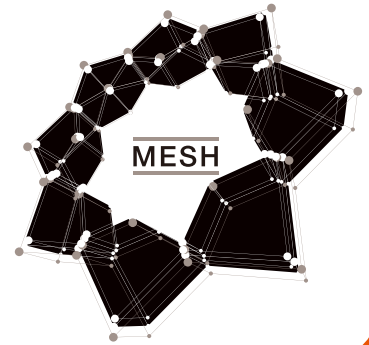


## 潮流2 通信における課題の改善

相互運用性は、スマートホームが抱える頭の痛い問題だ。この問題の解決策はまだ見つかっていないが、プロトコルや標準規格の策定機関は積極的にこの問題に取り組んでいる。

- Bluetooth SIG社、Bluetooth Smart Meshワーキンググループの発足を発表(2015年2月)
- IoTとM2Mに対応するLoRaアライアンスが正式に発足(2015年3月)

- アップル社、Bluetooth SIGのプロモータ企業に(2015年6月)
- Bluetoothセミナーで、メッシュの標準化と最新のBLEアプリケーションを発表(2015年6月)
- ワイヤレス・ネットワーク・プロトコルThreadの公開(2015年7月)
- グーグル社によるオープンでスケラブルなBLEビーコン方式、Eddystone(2015年7月)



## 潮流3

### IoTエコシステムの戦いが続く

IoTエコシステム市場は、何百社ものデバイス企業、通信サービス供給企業、IoTプラットフォーム企業、ソフトウェア企業、ITサービス提供企業が複数の層をなし、複雑な様相を呈している。ほとんどのスマートホーム企業にとって、どれを支持するかが問題だ。

- スマートシング社とサムスン社、IoTエコシステム向け新オープンソフトウェアを発表(2015年5月)
- サムスン社、IoT機器とアプリケーションのARTIKプラットフォームを発表(2015年5月)
- Broadcom WICEDプラットフォーム、Homekitエコシステムをサポート(2015年5月)
- グーグル社、新OSのBrilloを発表(2015年5月)
- オープン・インタコネクト・コンソーシアム、新会員と新規格を発表(2015年7月)
- マイクロソフト社、Allseenアライアンスに加入(2015年7月)



## 潮流4

### 業界の枠を超えた協力関係で商機を追求

スマートホームはまだ初期段階に過ぎないというのが業界の共通認識だ。スマートホーム専門企業は、マス・マーケットの認知に期待する一方、自社のソリューションの販売促進に繋がるのであれば、あらゆる可能性に賭けている。例えば、専門工事市場でDIY製品は格好の拡張機能になる。コネクテッドホーム用機器は、他の市場でもスマートさを発揮する可能性がある。

- ネット社、製品ラインナップ全体を刷新。9,000社以上の開発協力企業が、Works with Nestプログラムを利用(2015年6月)
- アイコントロール・ネットワークス社、ベゼク社と提携し、スマートホームプラットフォームPiperでイスラエル市場に参入(2015年7月)
- 独立系ディーラ向けの費用対効果に優れた新しいホームオートメーション・ソリューション、アイコントロールワン(2015年7月)
- ADT社とネット社が提携し、スマートセキュリティ・エコシステムがさらに充実(2015年7月)
- タイコ・セキュリティ・プロダクツ社、Alarm.comと提携し、対話型サービスを商用市場に拡大(2015年7月)



## 潮流5

### アジアの有力企業、続々とスマートホームに参入

IT市場や3C市場の飽和状態が進んでいる。アジアの有力企業は、次の市場への進出を模索中で、スマートホームも選択肢の1つだ。単なる機器やハードウェア・メーカーという印象を脱却するため、コネクテッドホームの鍵を握るのはソフトウェアだと認識しているアジア企業もある。

- Asus社、Zigbeeを採用したスマートホーム・シリーズを発表(2015年6月)
- Msi社、ナイトビジョンを搭載してアップグレードしたPanocamと、新シリーズCubecamを発表(2015年6月)
- IoTlife用のゲートウェイソリューション、Sunix Iolife(2015年6月)
- Apacer社、統合型サービスプラットフォームApacerCloudを発表(2015年6月)
- Acer Byoc社、IoT開発でマーヴェル社、MTK社、リアルテック社、ウブンツ社と協力(2015年6月)



上記のニュースの詳細は、www.mysmahome.comを参照。



## スマートホームの 新興企業9社

ガートナ社によると、2014年、新興企業と小規模な電子機器メーカーの半導体支出額は、市場の23%に当たる783億米ドルだった。ガートナ社副社長ジム・タリ氏は最近「IoTソリューションの50%は、新興企業が提供するソリューションだ」と発言している。SMAhomeの見解では、スマートホームにも同じことが言える。新興企業は、製品と先端技術の進歩で重要な役割を果たす。ここでは、インディゴゴとキックスタータで現在進行中のスマートホームに関連する9つのクラウド・ファンディング事業を紹介する。秀逸なアイデアが目白押しだ。

### エイジェンシ2.0社

● 英国

● [www.fridaylock.com/about](http://www.fridaylock.com/about)

● インディゴゴ

● 資金調達総額15万9,322米ドル。キャンペーン開始2015年5月1日、目標達成率141%

### Friday - スマートロック

Fridayは、簡単にWi-Fi、Bluetooth接続が可能なスマートロック。Apple HomeKit、Threadテクノロジーをベースとし、他のホームオートメーション製品との接続も可能。ダッシュボードを使用して、一時的な1回限りのアクセスや永続的なアクセスを許可することができ、任意の時点でキャンセルすることができる。携帯電話からログファイルにアクセスし、動作を確認することもできる。

### アマリロ・インタナショナル社

● オランダ

● [www.amaryllo.eu](http://www.amaryllo.eu)

● インディゴゴ

● 資金調達総額34万1,853米ドル。キャンペーン開始2015年1月18日、目標達成率23,777%

### iCamPro - ロボティック ホームセキュリティカメラ

アマリロ社のiCamProは、家庭やオフィスで動く物体を実際に見て、聞いて、感知して、追跡することができるロボティック・ホームセキュリティ・カメラで、薄暗い環境でも動作する。高さわずか3インチ。高速CPUを搭載。特許出願中のマルチ・センサ・ネットワークを搭載し、あらゆる方向にカメラを向けることができる。

### ブルーガード社

● 米国

● [www.lark-wi.com/index.html](http://www.lark-wi.com/index.html)

● インディゴゴ

● 資金調達総額2万5,566米ドル。キャンペーン開始2015年4月1日、目標達成率343%

### ブルーガード - スマート ロック搭載Wi-Fi ビデオドアベル

ブルーガードは、スマートロックを搭載したWi-Fiビデオ・ドアベル。ブルーガード・アプリを使用して、2通りの解錠方法を設定することができる。「タッチして開ける」では、スマートフォンかBluetoothリモコンをポケットに入れておくか、暗証番号を直接入力し、解錠ボタンに触れるとドアが開く。「自動解錠」では、スマートフォンかBluetoothリモコンをポケットに入れておくと、手を使わずに解錠することができる。

## カーブ社

- 米国
- インディゴゴ
- 2万5,000米ドル (資金調達総額9万7,824米ドル)。キャンペーン開始2015年8月20日、目標達成率329%

### カーブ - 家庭用エネルギー・モニタリング・システム

カーブは、家庭で使用するすべてのエネルギーの管理に役立つ、家庭用エネルギー・モニタリング・システム。家庭の制御盤に機器を1台接続するだけで、コンセントに接続した個々の電化製品の電力消費をリアルタイムで見ることができ、エネルギーを大量に消費している電化製品を特定し、問題を未然に防ぐことができる。

## ジェニカン社

- 米国
- [www.genican.com](http://www.genican.com)
- インディゴゴ
- 資金調達総額6,886米ドル。キャンペーン開始2015年6月22日、目標達成率128%

### ジェニカン - スマートゴミ収納機器

ジェニカンは、現在特許申請中の、台所用のゴミ入れに取り付ける機器。ごみを調べ、ユーザの買い物メモを自動的に作成し、商品にクーポンを関連付け、オプションで宅配を選ぶことができる。ジェニカンは、ゴミとリサイクルに対応し、バーコードと話し言葉を翻訳して独自の買い物リストを作成し、ジェニカン・アプリに保存する。

## IGIA社

- 中国
- インディゴゴ
- 1万米ドル

### iGia - ホームセキュリティキット

iGiaは、インテリジェントなアルゴリズムとスマート・センサを統合したスマートホーム・キット。iGiaシステムには、中央制御装置、HDカメラ、動体センサ、ドア用センサ、窓用センサ、スマート煙検知器、アラーム・トリガが含まれ、ユーザは、自由にセンサを追加や削除して、独自のスマートホーム警備体制を構築することができる。



## NEURIO社

- カナダ
- [neur.io](http://neur.io)
- キックスタータ
- 26万7,373米ドル (目標9万5,000ドルを約束)

### Neurio - ホーム・インテリジェンス

Neurioは、普通の電化製品をスマート化し、家庭全体を効率的にするホーム・インテリジェンス技術。Wi-Fi電力センサと、スマートなパターン検出アルゴリズムを備えたクラウド・サービスを併用して、家庭の電力をモニタし、どの電化製品が作動しているかを把握する。機器ごとにセンサを設置する必要はない。

## OOMI社

- 米国
- [www.OomiHome.com](http://www.OomiHome.com)
- インディゴゴ
- 資金調達総額176万6,828米ドル。キャンペーン開始2015年6月19日、目標達成率3,418%

### Oomi - スマートホーム・システム

4つのキット・オプションが用意されており、ユーザは必要なものだけでスマートホームを構成することができる。Oomi Cubelはシステムの頭脳で、8つの環境センサ、ナイトビジョン・カメラなどが搭載されている。Oomi Touchはコントローラ。アクセサリとして、マルチ・センサ、ドアセンサ、窓センサ、RGB電球、プラグ、Oomi Air、ストリーマなどが用意されている。

## トランプ社

- 中国
- [www.plugaway.co](http://www.plugaway.co)
- Kickstarter
- 16万2,835米ドル (目標5万ドルを約束)

### プラグアウェイ - スマートプラグ、スマート電球

使いやすく、低価格なスマートプラグ、LED電球をワイヤレスで制御し、スマートフォンを使用して住居をモニタすることができる。電化製品に接続して、節電への地道な努力を始めることができる。すぐにWi-Fiネットワークと同期し、睡眠モード、起床モード、エネルギー・モニタ、家電製品のスケジュール設定、照明器具の減光、機器アラームなど、基本的で、シンプルで、明確な機能を利用することができる。

# よくわかるIPネットワーク

株式会社ジャパテル 代表取締役 佐々木宏至

新年あけましておめでとうございます。私にとって2016年、申年は色々な意味で考え深い年となりそうです。今年、私は還暦つまり60歳を迎えます。そして会社は2016年1月7日に創業から20期、設立から10期を迎えることができました。これもひとえに、お客様とパートナー様のお引き立てがあつてのことです。今後ともよろしく願い申し上げます。

## 公共施設でのセキュリティ

今回は公共施設におけるセキュリティに関して考察します。なお、本稿では「公共」の定義として不特定多数の人々が多数集まる場所とします。

単純に事後検証として割り切るなら、カメラを可能な限り多数設置することです。現実に設置されている監視カメラのほとんどが、事後検証のためにのみ存在している状況です。事後検証を単刀直入に言えば、殺されてから調べるということです。セキュリティの本来の目的は生命と財産の保全が使命で、いかに盗まれないか、殺されないかを徹底することです。

鉄道駅や空港、イベント・ホール会場やスタジアム、モールなど、不特定の人が入り出りする場所は限りなく存在します。つまり、不特定の人が入り出りできないように管理するのがアクセス・コントロール(入退管理)です。しかし、公共空間ではアクセス・コントロールはほとんど不可能です。最近一部の人気の高いコンサート会場では、入場チケットは個人を特定できないため、身分証明のできる免許証などの提示を求めているようですが、これは極めて限られた事例です。では、公共空間ではどのような管理が重要かについて考察します。

群衆は大きな危険をはらんでいます。危険をいち早く察知する対策としてまず挙げられるのが、警備・保安要員の役割です。また、カメラを利用した群衆管理が利用可能なシステムも重要です。さらに、ピープル・カウント(人数計数)と併用することで、より精度の高い管理が可能です。出入専用ゲートが限られている施設であればピープル・カウントで入場者総数を把握することが可能です。

## アラート設定とピープル・カウント

群衆状態は、入場者が特定区域に集中している状態と定義

します。実際にどの程度が危険であるかの判断はケース・バイ・ケースとなります。経験則と照らし合わせ、群衆管理からのアラートを調整していきます。このような常時警備では、カメラ映像を解析して群衆状態のアラートを出すシステムは、ある程度の誤報も含めての運用を想定しておくべきです。誤報は絶対ダメとする条件では提案すらできません。



次に、待ち行列を考察します。チケットや各種受付など待ち行列は一般的な光景ですが、あまりに多数になると種々の問題が増加します。出入専用ゲートが限られているという条件での監視カメラによる待ち行列の監視では、ピープル・カウントも利用可能です。しかも、平均的な受付速度から許容値を設定することができます。

ヒートマップは直接的な監視とは関係しませんが、滞留量を視覚化します。警備計画や商品配置などマーケティング・ツールとして利用可能です。また、フローマップは人の流れをパーセンテージと矢印で示します。以上が群衆管理におけるの全体管理の基本となります。

## 顔認証

次に個人を対象とする監視としては顔認証が知られています。そして、顔認証で最も重要なことは、検知した対象者を追跡し切れることです。群衆から対象者を見つけ出すことは容易ではありません、しかし出入専用ゲートのある施設なら実現性は高まります。



に対して死角なく配置します。

対象者が画面上の左に移動したら画面上の左をクリックします。すると次のカメラに対象者が現れます。次に対象者が画面の下に移動したら下をクリックします。これらの操作を繰り返して対象者が台に座った時にPTZカメラで捉えます。これら一連の操作をトラッキング操作と言います。一般的なNVRやVMSには装備されていませんが、ジェネテック社のSecurity Centerにはビジュアル・トラッキング・システムがあり、サポートしています。

顔認証で重要なことは、まず高速で顔を捉えることができることです。顔認証はその次の工程です。おおよそ1-3秒程度のマッチング時間が必要となるでしょう。マッチング時間はブラックリストの登録数に比例します。

仮に2秒でマッチングしてアラームが出た場合、その対象者は既に移動していますから、どこに移動しているのか的確に把握できるシステムが必要です。つまり顔だけ切り出しても分かりにくい場合がほとんどで、その対象者の全体像を把握することが重要です。顔認証で最初に顔を捉えた時の数秒前からアラームと共に再生することで確実性が増します。これをプリアラーム表示と言います。

### 追尾システム

では対象者をどのように追尾するか、例えば、パチンコ店ではPTZカメラだけでは限界があります。通路側しか見えず、パチンコ台が死角になるからです。理想的には固定カメラを通路

### どこカメ@VMSの特長

次に重要なことは警備・保安要員との連携です。インターカムや無線などで交信しますが、その保安要員が見ているものを同時に管制室で見ることができると警備の品質向上が見込めます。それを実現しているのが「どこカメ@VMS」です。Security Centerにもモバイルカメラの機能はありますが、解像度の面で用途に限界があります。その点、「どこカメ@VMS」ではフルHDでの配信も対応可能です。



今回のテーマはIoTとセキュリティの予定です。

2016年1月13日～15日に東京ビックサイトで開催のウェアラブルEXPOに出展いたします。最新のウェアラブルとセキュリティの融合をテーマとしています。ブース番号E22-33です。ご来場をお待ちしております。



ウェアラブル端末の活用と技術の総合展

第2回 **ウェアラブル EXPO**

会 期: 2016年1月13日-15日

会 場: 東京ビッグサイト

ブース: E22-23

**株式会社ジャバテル**

[www.javatel.co.jp](http://www.javatel.co.jp)

専門サイト [nvr.jp](http://nvr.jp) [ipcam.tv](http://ipcam.tv)

**Javatel**  
Video Intelligence

本 社 〒530-0041 大阪市北区天神橋 2- 北 1-21 八千代ビル東館 3F  
TEL 06-6354-0100 FAX 06-6136-1155  
支 店 〒130-0011 東京都墨田区石原 1-41-4 TK ビル 3F  
TEL 03-6658-8726 FAX 03-5637-7834

# エルモ社、エルモテクニカルソリューションフェアを開催



テクノホライゾングループのエルモ社は、2015年11月11日と12日の両日、東京浅草の都立産業貿易センター台東館で、エルモテクニカルソリューションフェア2015 in東京を開催した。同フェアは、エルモ社製品を中心にして、テクノホライゾングループ各社の製品およびシステムを一堂に集めたイベント。

出展企業は、テクノホライゾングループであるエルモ社、タイテック、ファインフィットデザイン、中日電子、グラフィン、SUWAオプトロニクスのほか、NECディスプレイソリューションズ、小池、新光商事、ディフェンス・レイバー・エアロ、VQSマーケティングの11社だった。

会場内では、医療シーン、教育シーン、製造シーン、安全・余暇シーンと業種別市場にソリューションを紹介していた。

## 【安全・余暇シーン】

本シーンでは、小型高性能カメラ・ソリューションとカー・エレクトロニクス・ソリューション、そしてセキュリティ/マネジメント・カメラ・ソリューションが展示されていた。

そのうちセキュリティ/マネジメント・カメラ・ソリューションでは、HDクラウド・カメラ&サービス、HD-SDIカメラシステム、街路灯/通学路HDスタンドアロン・カメラ、HD-PLC高速電力線通信カメラ・ソリューションを展示していた。



## 【防犯監視システム DEFENDER-X】

テクノホライゾングループ以外の製品で注目を集めていたのが、DEFENDER-Xだった。本製品は、ディフェンス・レイバー・エアロ社の製品で、群衆の中で不法



行為を犯す潜在的可能性の高い人物を事前に検知し犯罪を未然に防止するシステム。ロシアで開発された「VibralImage」技術を採用している。

システム構成は、本製品をインストールしたPCと録画装置そしてIPネットワークカメラで、システムが人間の精神状態を解析し、その結果を表示する。予め設定した値以上を示した対象人物を危険と見做し、赤枠で表示する。

本システムは、数多くの犯罪データや実験データに基づいて収集した情報、具体的には、体が無意識に発している振動と人の感情の相関関係をもとに、対象者がどんな心理状態にあるかを分析している。



今後、市場での反応が気になる製品だった。



# IPCC2016

IP/Network Camera Convention 2016

in 福岡

会期：2016年2月2日(火)～3日(水)

開場時間：2日10時～18時 3日9時～17時

会場：九州ビル 福岡市博多区博多駅南 1-8-31

8F (NVR 展示会場) / 9F (IP カメラシステム展示会場)

主催：株式会社 R.O.D

IPCC は IP(ネットワーク)カメラコンベンションの略で、  
IP カメラとその周辺機器に特化した展示会です。



IP 監視システムに関する最新の製品やソリューションを見て、聞いて、比べて学べる内容の濃いイベントになっています。R.O.D では多数のメーカー様のご協力のもと、2008 年より毎年 IPCC を開催しており、大勢の方にご来場いただいております。

【過去出展企業一部】アクシスコミュニケーションズ/パナソニックシステムネットワークス/ソニービジネスソリューション/キャノンマーケティングジャパン/他多数

特別展示 次世代の監視システムをわかりやすく解説。

## やっぱりネットワークカメラ!

カメラメーカー各社が4Kカメラに注目する近年、2016年はハイビジョン化がますます加速していくでしょう。美しい画質で利便性の高い監視システムの構築に、もはやネットワークカメラは欠かせません。

そこで、ネットワークカメラの特長を、実機を交えて解説させていただき特別展示を行います。「ネットワークカメラってよくわからない」という方も、この機会にぜひご参加ください!

特別講習会 **VioStor 技術セミナー**



スタンドアロン NVR「VioStor」の操作や設定、実際の設置事例などを交えた、テクニカルスタッフ・サポート向けの特別講習会を行います。VioStor はもちろん、監視カメラについてもっと詳しく知りたいという方は、ぜひご来場ください! (予約制)

予約連絡先：morimoto@rodweb.co.jp (担当：森本)



# secutech x solution



2016年、SecutechはSecutech x Solutionに進化します。ソリューションに注力することで、来場者がソリューションの回答を見つけることができるよう、サポートします。

## ■3つのソリューション

### ●製品によるソリューション

出展社が各社ブースで最新機器やシステムを展示し、ハードウェアやソフトウェアで解決するかを提案します。

### ●システムによるソリューション

2016年のセミナー・セッションは、製品紹介に留まらず、どのようにシステムを構築するか、来場者の課題解決に応えるかにフォーカスした内容が満載です。

### ●個別市場でのソリューション

交通機関、工場、小売、商業ビル、そしてスマートホームなど、いずれの国や地域でも求められる代表的な個別市場に関するソリューションについては、特設パビリオンを用意してソリューションの具体的なアイデアを紹介します。

## ■キーワードはインテリジェント化、統合、IoT

### ●インテリジェント化

今や、映像監視システムにインテリジェント化は不可欠です。HDやフルHD映像はインテリジェント化してこそ価値が高まります。動体検知や人数計測、持ち去りや置き去りや、さらに動線

分析など、映像活用シーンは広がるばかりです。

### ●統合

アクセス・コントロールやRF-IDなど、既に導入しているシステムと高解像度映像とを統合する動きは、今後ますます増加していきます。そこで、どのように統合化するかがキーワードとなります。

### ●IoT

しばらく前に日本で話題となった「コビキタス」。今ではIoTが世界の様々な市場で注目を集め、既に一般市場に導入され始めています。では、映像とセンシングなどをどのようにしてIoTと結びつけるか、これが市場で一步先を歩むためのキーワードです。

## ■Secutech x Solutionにあるヒントとビジネス・チャンス

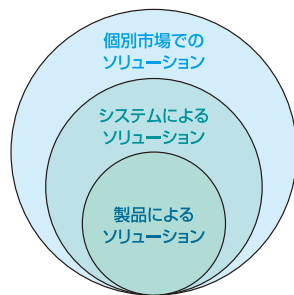
上記の3つのソリューションと3つのキーワードに遭遇することができるのが、Secutech x Solution。見逃すことのできないこの機会をご活用ください。

## ■Secutech x Solution開催概要

日時:2016年4月19日(火)~4月21日(木) 10:00-17:00

会場:台湾 台北市 南港国際展示会議場

事前登録:[http://www.secutech.com/16/en/visitor\\_reg.aspx](http://www.secutech.com/16/en/visitor_reg.aspx)





# secutech x solution

19 – 21 April 2016 | Taipei, Taiwan

www.secutech.com



## システム構築者フォーラム

### ▶ シンクロするのは...

スマートシティにおけるIoTやビッグデータまたクラウドサービスに関する実務やノウハウを、STエレクトロニクス社やメンス社そしてインテル社をはじめとする業界の先駆者や関連団体が提供します。

### ▶ 情報源は...

アジア最大のセキュリティ・ソリューション展示会である Secutechが、積極的に付加価値の高いアプリケーションとインテリジェントな監視システムを紹介します。

- システムやソリューションを統合する機器やサブシステムを包括的に展示
- 個別市場ごとに分かれたパビリオンとテーマ別のゾーン

### ▶ 情報提供元は...

国境を越えたSIパビリオンとSI商談夕食会に集うアジアの優れたシステム構築者

Learn more



講演者と聴講者として参加する2500人も専門家

海外来場者/パッケージに関するお問い合わせ先  
担当: 小森堅司  
komori@asj-corp.jp | +81-3-6206-0448



messe frankfurt

## 2016年1月

### ソニー ネットワークカメラ・ソリューションセミナー 東京会場

会期：テクニカルセッション  
2016年1月13日(水)  
13:30 - 15:00  
セールスセッション  
2016年1月13日(水)  
15:30 - 17:30

会場：ソニー株式会社 本社2F  
東京都港区港南1-7-1

主催：ソニービジネスソリューション  
URL：[www.sony.jp/professional/event/info/pb20151030.html](http://www.sony.jp/professional/event/info/pb20151030.html)

### 第2回 ウェアラブルEXPO

会期：2016年1月13日(水) - 15日(金)  
開場：10:00 - 18:00  
(最終日は17:00終了)

会場：東京ビッグサイト  
主催：リード エグジビション ジャパン  
URL：[www.wearable-expo.jp/ja/Home/](http://www.wearable-expo.jp/ja/Home/)

### Intersec

会期：2016年1月17日(日) - 19日(火)  
会場：ドバイ国際展示会議場  
アラブ首長国連邦 ドバイ  
主催：Messe Frankfurt  
URL：[www.intersecexpo.com](http://www.intersecexpo.com)

### 第12回 統合医療展2016

会期：2016年1月26日(火) - 27日(水)  
開場：10:00 - 17:00  
会場：東京ビッグサイト  
主催：UBMメディア  
URL：[www.togo-iryu.jp/](http://www.togo-iryu.jp/)

## 2月

### IPCC2016in Fukuoka

会期：2016年2月2日 - 3日  
開場：9:00 - 17:00  
会場：九州ビル  
福岡市博多区博多駅前1-8-31  
主催：R.O.D  
URL：[www.rodweb.co.jp/](http://www.rodweb.co.jp/)

### 国際ホテル・レストラン・ショー

会期：2016年2月16日(火) - 19日(金)  
開場：10:00 - 17:00  
会場：東京ビッグサイト  
主催：日本能率協会/日本ホテル協会/  
日本旅館協会/  
国際観光日本レストラン協会/  
国際観光施設協会  
URL：[www.jma.or.jp/hcj/jp/](http://www.jma.or.jp/hcj/jp/)

## 3月

### SECURITY SHOW 2016

会期：2016年3月8日 - 11日  
開場：10:00 - 17:00  
会場：東京ビッグサイト  
主催：日本経済新聞社  
URL：[messe.nikkei.co.jp/ss/](http://messe.nikkei.co.jp/ss/)

### リテールテックJAPAN

会期：2016年3月8日 - 11日  
開場：10:00 - 17:00  
会場：東京ビッグサイト  
主催：日本経済新聞社  
URL：[messe.nikkei.co.jp/rt/](http://messe.nikkei.co.jp/rt/)

## 4月

### ISC WEST 2016

会期：2016年4月6日 - 8日  
開場：10:00 - 17:00  
会場：サンズ展示会議場  
米国 アリゾナ州 ラスベガス  
主催：Messe Frankfurt New Era  
Business Media  
URL：[www.iscwest.com/](http://www.iscwest.com/)

### SECUTECH 2016

会期：2016年4月19日 - 21日  
開場：10:00 - 17:00  
会場：台北南港国際展覽館  
台湾 台北市  
主催：Messe Frankfurt New Era  
Business Media  
URL：[www.secutech.com/16/en/](http://www.secutech.com/16/en/)

### SECUTECH INDIA 2016

会期：2016年4月21日 - 23日  
開場：10:00 - 17:00  
会場：ボンベイ展示会場  
インド共和国 ムンバイ市  
主催：Asian Business Exhibition  
& Conferences Ltd.  
URL：<http://www.secutechindia.co.in/e-brochure/default.html>

## 5月

### 第7回 クラウド コンピューティング EXPO【春】

会期：2016年5月11日 - 13日  
会場：東京ビッグサイト  
主催：リード エグジビション ジャパン  
URL：[www.cloud-japan.jp/haru/](http://www.cloud-japan.jp/haru/)

### MOBOTIX NPC 2016

会期：2016年5月17日 - 18日  
会場：横浜ベイシェラトンホテル  
主催：MOBOTIX JAPAN  
URL：[www.mobotix-japan.net/](http://www.mobotix-japan.net/)

### 第7回 教育ITソリューションEXPO

会期：2016年5月18日 - 20日  
会場：東京ビッグサイト  
主催：リード エグジビション ジャパン  
URL：[www.edix-expo.jp/](http://www.edix-expo.jp/)

### ワイヤレスジャパン2016

会期：2016年5月25日 - 27日  
会場：東京ビッグサイト  
主催：リックテレコム  
URL：[www8.ric.co.jp/expo/wj/](http://www8.ric.co.jp/expo/wj/)

## 6月

### IFSEC INTERNATUINAL

会期：2016年6月21日 - 23日  
会場：エクセル・ロンドン  
英国 ロンドン市  
URL：[www.ifsec.co.uk/](http://www.ifsec.co.uk/)

第24回 セキュリティ・安全管理総合展

# SECURITY SHOW 2016

2016年 3月 8日(木) ▶ 11日(金)

東京ビッグサイト [東2・3ホール]

主催  
日本経済新聞社



## 広がる!最新セキュリティ!

お問い合わせ : SECURITY SHOW 担当  
Tel. 03-6256-7355 info@securityshow.jp

<http://www.securityshow.jp/>

# 通年賑わう浅草寺を支える Omnicastによる映像監視システム



浅草寺 本堂



浅草寺 雷門

日本を代表する観光名所である東京浅草の浅草寺は、162,162m<sup>2</sup> (49,140坪)の境内地を隅々まで運営管理している。そのため、同寺では2011年にジェネテック社製VMS(映像監視ソフトウェア)のOmnicastによる映像監視システムを導入している。そこで、本誌では浅草寺がOmnicastをどのように活用しているかを取材した。

## 【質問】 浅草寺の年間参拝者数は？

【回答】 直近のデータではありませんが、年間約3,000万人の方が来場されていると見えています。さらに近年来場者数は増加していますので、現在ではそれ以上の方が来訪されています。

## 【質問】 浅草寺として心がけている具体的な安全と安心とは？

【回答】 境内地では、導入済みの監視カメラだけでなく、警備員による巡回なども含めて安全確保を実施しています。これとは別に、境内全体を整備して、ゴミや汚れがないように心がけています。そのため、監視映像で確認することを含めて、早朝から夕方まで敷地全体を何度も清掃活動を行っています。

## 【質問】 警備および境内整備のほかに映像監視システムが担う役割にはどのようなことがありますか？

【回答】 参拝客の方々が本堂の賽銭箱に向かう際に混乱や渋滞がないかを映像監視室から状況を把握し、現場の警備担当者に参拝客の方々を円滑に誘導する上で利用していますが、非常に効果的です。その際に心地よくお参りしていただけるよう配慮して参拝客の方々をご案内しています。

## 【質問】 以前に使用していた映像監視システムは？

【回答】 映像監視システムは長年にわたり導入し映像を活用して運営していました。旧来システムではアナログ監視カメラ10数台を本堂周辺中心に設置し、同軸ケーブル経由でDVRにカメラ映像を録画していました。しかし、解像度の低いアナログ映

像のため、細部を映像で把握することができませんでした。そのため、現地に赴き目視を含めて対応していました。そこで、システム入替時に鮮明な映像による遠隔監視とカメラの増設を必要条件としました。

## 【質問】 鮮明な映像が必要な理由は？

【回答】 多くの参拝客の方々が何らかの不快感をお持ちにならないようにするため、鮮明な録画映像で見守ることが不可欠です。もし何らかのトラブルがあった場合でも解決に結びつく様々な情報が確認できる映像データを確保する必要があります。

## 【質問】 映像監視システムの導入時に配慮したことは？

【回答】 お寺という場所柄、すぐに監視カメラとわかる設置だけは避けています。そこで、参拝客の方々が気にならないように、ハウジング部の塗装を建造物と同色の朱色にし、またケーブルも目立たないように配線するなど配慮しています。

## 【質問】 新システム導入にあたり考慮したことは？

【回答】 コスト面も大切ですが、ハードウェアでもソフトウェア



でも信頼性を最優先しました。

提案を受けた幾つかのシステムについて、ハードウェアおよびソフトウェアの両面から検討した結果、Omicastについては、世界で数多くの導入実績が有していること、当方が求める機能を備えていること、そしてサポート体制を最重要視しました。ハードウェアについても同様に、信頼性とサポート体制を最優先して機種を選定しました。

#### 【質問】 Omnicast映像監視システムの採用決定から運用までの期間は？

【回答】 採用決定後システム構築の協議を開始し、数ヶ月かけて詳細なシステム設計を完了しました。その後、設置施工における制約状況を確認して工事を進め、ネットワークを構築し、詳細な仕様確認および修正などを経て、約1年後に運用を開始しました。

#### 【質問】 Omnicast導入により新たに活用できたことは？

【回答】 特に新年の数多くの参拝客の方々がお見えになる時に導入効果を体感することができます。浅草寺の境内地の入口にあたる雷門から本堂に向かう宝蔵門まではもちろん、雷門に至るまでの公道でも数多くの参拝客の方々がお待ちになっています。そこで、宝蔵門に設置したカメラ映像をモニタリングして、開門時刻の繰り上げや参拝客の方々の誘導時間を調整しています。

さらに、参拝客の動きの規制に協力いただいている所轄警察署の方々にもOmicastの映像を利用させていただいて効果を上げています。

#### 【質問】 Omnicast導入から数年後、システム全体のヘルスチェックおよびチューニングを実施しましたが、実施後に改善された点は何でしょうか？

【回答】 導入時は全ストレージがHDD(ハード・ディスク・ドライブ)によるシステムだったが、システム更新をする上で支障をきたす懸念があったため、検証作業を行いました。システム全体に問題はなかったのですが、より精度を高めるため、システム用ストレージにSSDを採用して独立させました。また、運用実績に基づいて一部のカメラのfps(フレームレート数/秒)を再設定して、ストレージの有効活用をより一層進めました。

#### 【質問】 現段階での導入成果は？

【回答】 まずコスト面では、現在導入しているOmicastによる



映像監視システムは、これまでのアナログ監視や人的警備よりも費用負担が軽減化されているでしょう。24時間人的警備を配置することを想定していただければ、ご理解いただけると思います。

また、高解像度の映像監視で得られる情報は、アナログ解像度からのものとは比較にならないほどです。この2点だけから判断しても、現段階でも導入成果は間違いなくあると言えます。

#### 【質問】 今後、映像監視システムをさらに拡張する考えは？

【回答】 浅草寺の総寺有地が4万9千坪超あり、現行の映像監視システムでその全てを網羅するまで至っていません。現在設置している42台の監視カメラにより、重要文化財を保全することと参拝客の誘導などは既に実現していますが、カメラ増設を含めて、さらに一段上の管理の実現を計画することを検討することになります。

また、浅草寺は境内地を完全に閉じていませんので、閉堂後の境内地および建造物の安全管理の強化を検討することも必要です。

#### 【質問】 無線伝送やさらに強化したい機能は？

【回答】 重要文化財では、建造物を保全するため配線工事を簡単に施工することができません。つまり配線の制約があるため、無線伝送は検討すべき項目の1つかもしれません。その際には前もって現行ネットワーク・システムとの適合性を確認することが不可欠です。そして、コスト面での検証も必要でしょう。

#### 【まとめ】

浅草寺に導入されているOmicastによる映像監視システムは、犯罪と建造物損傷の防止という目的だけでなく、参拝客の方々への「おもてなし」の心遣いを実現している。しかも、さらにシステムを拡張して、その目標を高めようとしている。これは映像監視システムのあるべき姿と言える。



## アスク、オリジナルSynology NVR216監視ソリューションを発売

本製品は、Synology社製監視システムNVR216をベースとした、ハードディスク・セットアップ済モデル。IPカメラ・サポートが4台までのモデルと9台までのモデルの2ラインナップを用意している。

### 【特長】

- 初期設定後に装備した3つのUSBポートにHDMIモニターとキーボードそしてマウスを接続するだけのPC 不要のオール・イン・ワン。
- 簡単なオンスクリーン操作やオーディオ入力ポート経由での音声出力など、使いやすい直感的な操作。
- 動体検知と、DScam/SMS/Eメールなどでのアラート通知必



要なインテリジェント機能を装備

- eSATAポートを使用してSynology製拡張ユニットDX213を接続してドライブを4台に拡張することが可能。
- 全製品2年間のセンドバック保証付き
- 下記URLで、カメラ台数とfps、録画の保存期間に応じた必要な容量を計算。

[https://www.synology.com/ja-jp/support/nvr\\_selector](https://www.synology.com/ja-jp/support/nvr_selector)

### 【ラインナップの詳細と価格(税別)】

- NVR216-4チャンネル・ベース
  - NVR216-4T4C(2TB HDD x 2台搭載) ……116,550円
  - NVR216-6T4C(3TB HDD x 2台搭載) ……127,710円
  - NVR216-8T4C(4TB HDD x 2台搭載) ……145,420円
  - NVR216-12T4C(12TB HDD x 2台搭載) ……183,420円
- NVR216-9チャンネル・ベース
  - NVR216-2T9C(2TB HDD x 2台搭載) ……133,210円
  - NVR216-4T9C(2TB HDD x 2台搭載) ……141,320円
  - NVR216-6T9C(3TB HDD x 2台搭載) ……152,480円
  - NVR216-8T9C(4TB HDD x 2台搭載) ……170,190円
  - NVR216-12T9C(12TB HDD x 2台搭載) ……208,190円

### 【問い合わせ先】

株式会社アスク(ASK CORPORATION)  
ソリューション&コンポーネント事業部エンベデッド営業部  
TEL:03-5215-5653 FAX:03-5215-5651

## アツミ電気、非常通報装置AMT200を発売

本製品はIP通信機能を標準搭載し、同社製センタ装置A-MAXおよびセンサまたはリモコン類と接続することができる。

### 【主な特長】

- 多彩な豊富な通報方式
  - ・警備先の環境に応じた最適な通報方式の選択が可能
  - ・IP通信に標準対応し、低コストの提案が可能
  - ・通報のメイン/サブ方式採用で、万全な通報体制を構築
- 豊富なセンサ入力
  - ・最大64センサ入力、無線モジュ-



ルを取り付ければ無線機器に対応

- ・ポーリング機能を搭載
- ・ポーリング・センサの配線能力の向上と低消費電力により、様々な現場に対応

### 【価格(税別)】

- 非常通報装置 AMT200:150,000円
- 入力増設ユニット AMC200:108,000円
- 出力増設ユニット ASC200:100,000円

### 【問い合わせ先】

アツミ電気 営業推進部 営業サポートグループ  
TEL:053-428-4111 E-mail:kikaku@atsumi.co.jp  
URL: www.atsumi.co.jp



# AXIS、新製品情報

## バレット型HDTVネットワークカメラ「AXIS P1435-E」、**「AXIS P1435-LE」**

### 主な特長

- 60fpsでフルHDTV1080pの映像を配信
- Zipstreamテクノロジーにより、帯域幅とストレージ使用量を平均50%以上削減。
- Lightfinder テクノロジー搭載で、低照度撮影でも低ノイズのカラー映像を提供。
- ワイドダイナミックレンジ(WDR)-フォレンジックキャプチャーを搭載
- コンパクトで軽量のケーシングと統合されたブラケットを採用。
- 取り付け用アクセサリを各種取り揃え。
- リモート・ズームとフォーカス機能で画角やフォーカスを調整



- 必要なピクセル解像度を設定するピクセルカウンター
- 縦型に撮影するコリドールフォーマットに対応
- Pアイリス・コントロールを搭載したレンズを採用
- I/Oポート内蔵で、カメラの動作と連動したアラームパネルへの簡単な通知が可能
- PoEによる電力供給
- 電力効率の高い赤外線 LED テクノロジーOptimizedIR 搭載でLEDを自動点灯(AXIS P1435-LE)
- Axis Application Development Partner Program(ADP)対応
- AXIS Camera Station対応
- AXIS Camera Application Platform およびONVIFに対応

### 価格

AXIS P1435-E 固定ネットワークカメラ: 119,800円  
AXIS P1435-LE 固定ネットワークカメラ: 127,800円

URL: <http://www.axis.com/jp/ja/>

## バレット型屋外対応サーマルネットワークカメラ**「AXIS Q1941-E」**

### 主な特長

- 開梱後すぐに使える屋外対応ハウジングと一体化
- 384x288 の解像度で優れたコントラストのサーマル映像を提供
- レンズは焦点距離別に5つのモデル(7 mm、13 mm、19 mm、35mm、60 mm)を用意
- 既存のIPセキュリティ機器やサードパーティ製アプリケーションと容易に統合

と容易に統合

- 電子動体ブレ補正(EIS)により、スムーズなライブビューを提供。
- Zipstream テクノロジーにより、映像伝送の容量を平均50%以上削減



### 価格

AXIS Q1941-E バレット型サーマル・ネットワークカメラ: 447,700円から847,600円  
(搭載レンズの焦点距離により異なる)

## 初の4K 解像度PTZ ドームカメラ**「AXIS Q6128-E」**

### 主な特長

- Sharpdomeテクノロジーで、カメラ設置水平角度から仰角20度までの広範囲を網羅
- 電子動体ブレ補正をサポート
- 最大4K(8Mピクセル)解像度で25/30fps
- オートフォーカスを備えた12倍光学ズーム
- 毎秒700度以上で高速作動する正確なパン動作
- 特定区域の対象を検知しズームインする映像分析機能



- アプリケーション・プログラミング・インタフェイスでサードパーティ製IVAに対応
- 歪みのない映像を実現する透明なドームカバー
- 塵、噴流水、降雨雪、日光から製品内部を保護する筐体
- 霧状の映像を見やすいように処理する自動デフォッグ機能
- 耐衝撃性能(IK08等級)に適合
- いたずらや破壊行為を防止する自動アラームで衝撃検知
- -50度から50度までの温度環境に対応した極寒温度管理機能

### 価格

AXIS Q6128-E 固定ドームネットワークカメラ 511,700円



# コレガ、「CG-NCPVD032A」と「CG-NCPFE011A」を発売

## 耐衝撃性ドーム型カメラCG-NCPVD032A

### 【主な特長】

- 3.5倍ズームとオートフォーカス対応バリフォーカル・レンズを搭載
- 2メガピクセル1/2.8型CMOSセンサを搭載
- IP67とIK10に適合
- 最大25m照射可能なIR LEDを搭載

- 多様な検知:顔検知、動体検知、イタズラ検知、アラーム検知、ネットワーク検知
- 価格:本体価格・・176,000円(税別)
- URL:  
<http://corega.jp/prod/ncpvd032a/>



## 360度全方位監視カメラCG-NCPFE011A

### 【主な特長】

- 1/2.5型CMOSセンサと5メガピクセル超広角魚眼レンズ搭載
- フルHD対応(1920x1080)/30fps
- 360度/180度(2画映像)/異なるアングルからの映像を1/4画面に表示
- デジタルP/T/Z対応
- H264とMotion JPEGのマル



- チストリームで最大1920x1080で同時配信
- 多様な検知設定が可能  
動体検知、イベント検知、音声検知、アラーム検知、ネットワーク検知
- 価格:本体価格・・150,000円(税別)
- URL:<http://corega.jp/prod/ncpfe011a/>
- 【問い合わせ先】  
株式会社コレガ  
E-mail:[pr@corega.co.jp](mailto:pr@corega.co.jp)

# ハイテクインター、コンポーネント/VGA/HDMI用分配器を発売



HVD-21-1/2



HVD-22-1/4



HVD-23-1/2

今回発売した製品は、1系統のコンポーネント映像入力を信号損失なく65mまで分配可能なHVD-21-1/2、1系統のVGA映像入力を信号損失なく65mまで4分配可能なHVD-22-1/4、3Dフォーマットや4K2Kビデオもサポートする、1系統のHDMI信号を2分配可能なHVD-23-1/2の3機種。

### 【価格(税別)】

- HVD-21-1/2:標準価格 \15,000

- HVD-22-1/4:標準価格 \16,000
- HVD-23-1/2:標準価格 \18,000

### 【問い合わせ先】

ハイテクインター 営業推進課  
TEL : 03-5334-5260 FAX:03-5334-3688  
Mail:[info@hytec.co.jp](mailto:info@hytec.co.jp)  
製品URL:<http://www.hytec.co.jp/products/video/>





# MOBOTIX JAPAN、新製品3機種を発売

## M15サーマル・レディオメトリ・カメラ

本製品は、既存のM15サーマルカメラに、サーマル・レディオメトリ(TR:Thermal Radiometry・熱放射計)テクノロジーと温度測定機能を追加し、産業用としてはハイエンドとあるNETD 50mKの温度分解能を持つ。これにより、これまでの機能に加えて、サーマルの放射線を画像内全体で測定し、温度値をピクセルごとに表示することができる。

### 摘要事例

TRテクノロジーは、オブジェクトの表面の温度を測定する(シンプルな温度センサはより費用対効果の高い方法で実現できる)ことよりも、温度の急激な増加や低下からくる潜在的で目視できない「くすぶった火」や突然のガス漏れなどの危険を認知し、

遅延なく反応することに特性がある。

摘要事例としては、ゴミ山のくすぶりや森林火災、製造現場などのプラント・セキュリティや、機械のモニタリングなどがある。

レンズは、B079レンズ/B119レンズ/B237レンズの3種類を用意している。

### 価格(税別)

M15-TRサーマル・シリーズ 920,000円~950,000円



## S15用サーマル・センサ・モジュール

本製品には、レンズ35mm換算距離43mmのB079レンズ搭載型、65mmのB119レンズ搭載型、135mmのB237レンズ搭載型の3タイプがあり、サーマル画像センサ1個を組み込み済み。標準はサーマル画像センサのみ、オプションでMX画像センサ(カラーor白黒)と併用可。筐体のカラーは、白色と黒色の2種類を用意している。

### 価格(税別)

#### S15 TR(サーマル・レディオメトリ)センサ・モジュール

S15 TRサーマル・センサ・モジュール 690,000円~

710,000円

#### S15サーマルPT(パン/チルト)マウント型TRセンサ・モジュール

S15 TRサーマルPTマウント 710,000円~740,000円



## c25/p25用マウント

### 【オンウォールマウント】

本製品を使用することで、ケーブル用に裏側を開ける必要なくカメラを設置することができる。特にコンクリートの天井への設置に向いている。また、1枚2枚のインタフェイス・ボックスの基板であれば、ケースの中に置くことができ、ボックスの機能を十分に利用することができるようカメラと接続する。トルクレンチやネジ、ネジアンカーを含む必要な設置用部材が同梱。

### 【コーナーマウント】

本製品を使用することで、部



屋の天井の角にカメラを簡単に設置することができる。このマウントは35度下方に傾いていて、B036(水平103度)のレンズで死角なく部屋全体を録画することが可能。

ケーブルは天井あるいは壁に通す。トルクレンチやネジ、ネジアンカーを含む必要な設置用部材が同梱。

### 【価格】

MX-MT-OW-1 13,000円(税別)

MX-MT-CM-1 11,000円(税別)



## VIVOTEK社、監視システム設計者用3D設計ツールを提供

VIVOTEK社(台湾・台北)は、監視システム設計者が平面的、立体的に同社製ネットワークカメラ製品のカバー範囲をシミュレートすることができる、IPビデオ・システム・デザイン・ツールの提供を開始した。この無償ツールにより、システム設計者はネットワークカメラの最適な配置を決定するのに要する時間を短縮できる。また、プロフェッショナルな監視システムの投資効果を最適化できるだけでなく、より優れたものとするができる。

### 【主な特長】

- 正確な情報に基づいた設計が可能

VIVOTEK社製ネットワークカメラ全機種の詳細な仕様情報を事前登録済みのため、システム設計者は、レンズ焦点距離や視野角度の計算機能を使って、より正確な監視戦略を設計できる。

- ユーザ・フレンドリな機能

ネットワークカメラやビデオサーバまた監視要件を変更した場合に、ネットワーク消費帯域や必要となるストレージ容量を見

積もることができる。

- 優れたビジュアル・インタフェース

平面的、立体的なモデリング機能を利用することで、システム設計者は個々のカメラのカバーする範囲を正確に把握でき、死角や監視のギャップとなる箇所を低減できる。

- 現実的なプランが可能

さらに現実的な設計作業を行なうことができるよう、IPビデオ・システム・デザイン・ツールには、JPEG, JPG, BMPやPDF形式のフロア・プランを背景画像として利用できるアップロード機能を装備。設計詳細は案件仕様文書としてPDF形式での保存が可能。



### 【問い合わせ先】

VIVOTEK社

Email: sunny.huang@vivotek.com

TEL: +886-2-8245-5282 ext.5188

## 竹中エンジニアリング、アナログHDカメラ・シリーズを発売



今回発売した製品は、AHDデイ/ナイト・カプセル・カメラVCC-IR830AH、AHDデイ/ナイト・カメラVSC-DN830AH、AHDハウジング型デイ/ナイト・カメラVHC-IR830AH、AHD屋外用デイ/ナイト・カプセル・カメラVOC-IR830AHのアナログHDカメラ・シリーズ4機種と、4チャンネルAHD DVRのHDVR-406AHと8チャンネルAHD DVRのHDVR-806AHのAHDデジタル・レコーダー・シリーズの2機種。



デジタル・レコーダー・シリーズの2機種。

### 【アナログHDカメラ・シリーズの主な特長】

- 1.3メガピクセル1/3型プログレッシブ・スキャンCMOSセンサ搭載で、解像度1280x720の高精細な画像を表示するデイ/ナイト・カメラ
- 最大500mの長距離配線が可能(5C-FB



使用時)

- 既存のアナログカメラ・システムでは、カメラとレコーダを交換するだけで済む
- 価格:オープンプライス

### 【AHDデジタル・レコーダー・シリーズの主な特長】

- AHDカメラだけでなく、既存のアナログ・カメラの接続も可能
- メガピクセル画質の映像で録画と再生
- ネットワーク機能搭載で、PC/タブレット/スマートフォンでの遠隔監視が可能
- 価格:オープンプライス



### 【問い合わせ先】

竹中エンジニアリング

広報企画室

〒607-8156 京都市山科区東野五条通外環西入83-1

TEL:075-594-7211 E-mail:info@takex-eng.co.jp

URL:www.takex-eng.co.jp



## ボッシュ、DINIONシリーズでバレット型4000 HDと5000 HDを発売

今回発表した製品は、DINIONバレット型4000 HD(型番NTI-40012-V3)と同5000 HD(型番NTI-50022-V3)。両機種は、新たにオート・バリフォーカル機能を搭載して、施工時の画角調整を簡素化した。また、カメラの向きを一つのネジで固定して設置する取り付け機構に改良した。

新機能として、ハイブリッド・モードを搭載し、アナログ/デジタル同時出力を可能にした。さらに、Dropboxなどクラウド・ベースに対応し、しかも価格を従来機種よりも安価に設定している。



### 【製品特徴】

- ・解像度は4000HD(1280x960、30fps)、5000フルHD(1920x1080、30fps)
- ・オート・バリフォーカル・レンズ 3-10mm/F1.3 DCアイリス
- ・IP66に適合して防塵/防水性を実現し、ビル/建物の屋外周辺監視に最適
- ・照射距離30mのIR内蔵
- ・PoE給電
- ・IDNR(Intelligent Dynamic Noise Reduction Bosch)による低ビットレートを実現し、一般的な他社カメラと比較して約50%低減
- ・H.264×3、Motion JPEG×1のマルチストリーム
- ・microSD対応(最大: microSDHC: 32GB、microSDXC: 2TB)

### 【価格】

DINION 4000 HD (NTI-40012-V3): 83,400円(税別)

DINION 5000 HD (NTI-50022-V3): 102,400円(税別)

## DynaColor Japan、DynaColorウルトラエコMシリーズNVRを発売



M1シリーズ

本製品は、高圧縮H.264により、リアルタイムでライブ映像を安定して途切れなく配信し、4KウルトラHD (8MP)までの映像を録画する。さらに、組み込み4/6/8ポートPoEスイッチでプラグ&プレイ自動インストールをサポートし、PoE接続にネットワーク接続を加え、最大24チャンネルのIPカメラを接続することが可能。

シンプルかつわかりやすいGUIデザインにより、複雑な設定とコントロール手順が不要になり、簡単に操作することができる。また、通常の均一分割表示レイアウトに加え、ポートレート表示等、ユーザーが自由に自分の表示レイアウトをデザインできる新しいオプションを提供している。

さらに、搭載しているリモート・ウェブマネージャーにより、留



M0シリーズ

守中に遠隔から監視区域の現状を確認し、録画した映像を再生することができる。さらに、iPhoneやAndroidスマートフォンを使い、DynaColor Guard IS アプリケーションで、NVRに接続されたIPカメラのライブ映像を遠隔から視認することができる。また、イベント録画の検索や再生ができるだけでなく、PTZ操作やスナップショット機能も実行することが可能。

### 【問い合わせ先】

DynaColor Japan

〒102-0093 東京都千代田区平河町1-1-1 平河町コート202

TEL: 03-3265-0037

URL: <http://www.dynacolor.co.jp>



## ■ フェイスVACS技術

- ・ 画像やビデオストリームからの顔の抽出と追跡
- ・ 登録/検証/識別用照合アルゴリズム
- ・ 性別や年齢、眼鏡や閉じた目、均一な照明検出や不自然な色、顔の幾何形状を正確に確認
- ・ 電子パスポート用に、ISO19794による5つの正面画像を検証
- ・ 2次元強度データと3Dデータ動作用に複数のアルゴリズムをサポート



Cognitec/ドイツ

Email : info@cognitec.com

## ■ F3 フェンス・コントローラ

- ・ 回路ごとに2/3次元出力
- ・ 簡単メンテナンスができる設計
- ・ 5日間の警報履歴を保存
- ・ オプションで外部電源管理をサポート
- ・ 電圧と温度のリポート出力
- ・ ソフトウェア自動アップグレード



Gallagher Security/ニュージーランド

Email : security@gallagher.com

## ■ 赤外線EXITスイッチ HPB-10A/HPB10-E

- ・ 非接触赤外線に対象物を検出し、電子ロックを解除
- ・ 青から緑に変化する表示で、スイッチ動作を通知
- ・ スタイリッシュでモダンなデザイン
- ・ 組込設計に対応
- ・ 欧米国仕様のHPB-10Aおよび州仕様のHPB-10E
- ・ 赤外線検出信号はトリガーから解除可能



Hundure Technology/台湾

Email : overseas@hundure.com

## ■ スナップドラゴン618搭載 IPネットワークカメラ

- ・ ARM社製6コア64ビットCPU(1.8GHz)搭載
- ・ LTE Cat 7 で最大下り300Mbps/最大上り100 Mbps
- ・ デュアル画像信号処理ICによるH.264とHEVCのエンコードで、最大21メガピクセルと4K映像を検出し通信帯域を最大50%削減
- ・ 電力使用を効果的にする電源用ICで音声コーデックを統合



カルコム・テクノロジー/米国

www.qualcomm.com/contact

## ■ 超低照度対応固定型IPカメラ EAN7200

- ・ 1/1.9型ソニー製プログレッシブCMOS画像センサで2MP解像度を提供
- ・ 最大60fpsの1080p映像
- ・ H.265, H.264, M-JPEGのマルチストリーム
- ・ 超低照度
- ・ デイ/ナイト機能



エヴァーフォーカス・エレクトロニクス/台湾

Email : marketing@everfocus.com.tw

## ■ 赤外線LED付6メガピクセル耐衝撃 ドーム型 IPカメラ GCI-M1566F

- ・ ポリカーボネートとアルミ・ダイキャスト製の堅牢な屋外用筐体
- ・ 6メガピクセルCMOSカラー/白黒カメラ
- ・ 360度の画角
- ・ 虫除け機能内蔵
- ・ ONVIFプロファイルS準拠でVMSとの互換性を最大化
- ・ 統合赤外線LED投光器で0ルクスでも視認



Grundig/ドイツ

Email : info@grundig.com

## ■ 迎撃用HD対応PTZカメラ

- ・ H.264エンコード
- ・ フルHD1080p映像
- ・ IP68とIK10に適合
- ・ 動作温度：-40℃～60℃
- ・ 129mmレンズ搭載
- ・ 白色と赤外線照明に対応



IndigoVision/英国

Email : sales@indigovision.com

## ■ 公開画像モニタ

- ・ 内蔵のフルHDカメラの映像から顔を検出
- ・ 情報化機能：ヒートマップ生成、人数計測、追尾などの解析技術
- ・ 解析レポート：Webブラウザ経由でアクセス
- ・ 内部情報伝達：内蔵SDカードでメッセージや広告の表示機能
- ・ イベント検出：内蔵カメラと解析機能で、特定領域で発生したイベントを携帯電話に通報



VCAテクノロジー/英国

Email : info@vcatechnology.com

## 定期無料購読のご案内

簡単な手続きで毎号お読みいただけます



① <http://www.asj-corp.jp/> にアクセス

② このバナーをクリック



③ 登録画面の全項目にご記入

④ 「送信する」をクリック



⑤ 登録完了メールをお送りします

最新号発行のたびに  
アクセスするURLをお送りします

## 自動販売機に監視カメラを組み込んで、安全対策を高めよう

様々な事件が発生するたびに、「防犯カメラの映像」が活躍する場面が増えている。増えていると表現するよりも、状況把握のために欠かせない存在となっている。しかし、対象物の映像を見る上での問題点は、ほとんどの対象物が動いていることだ。そこで、提案したいのが、自動販売機に監視カメラしかも魚眼レンズを搭載した小型カメラを搭載することだ。既に一部の自動販売機には、マーケティング活用のため導入されているが、その使用範囲を自動販売機周辺の映像を確保することまで拡大することだ。最近でこそ減少しているが、自動販売機を破壊して現金を窃盗する犯人の映像を撮ることもできる。幸いにも商品を示す照明があるので、夜間でも照度に関しては心配がない。

(神奈川 システム構築)

## 自然災害対策にVCA搭載ネットワークカメラとセンサの活用を

火山活動や台風襲来さらに地震など、日本全国で様々な災害がいつどこで発生するかわからない。そこで、映像解析機能(VCA)を備えたネットワークカメラを増設して、災害発生前に危険な状態を把握できるようにすべきではないか。VCAで火災や噴火を察知し、さらに各種センサの活用を含めて幅広く危機管理を実践することは、現代版「治山治水」となるだろう。無駄な箱物を作る行政よりも、国民の安全と安心を実現することができる。

(茨城 設置施工)

## ドライブ・レコーダは車両の前後を記録することが重要

以前本欄でクルマへのドライブ・レコーダ搭載の重要性を紹介していたが、その意見で述べていたのは運転前方のカメラだけだったと記憶している。しかし、「貰い事故」には後方からの追突もあり、その際に被害者側のクルマが前後の映像を記録するドライブ・レコーダを設置していれば、被害者側の落ち度の有無を立証することができる。そのためにはまず、バスやタクシーから積極的に導入すべきではないか。また、高級車には標準装備としてもいいのではないだろうか。

(東京 運輸)

## 「読者の声」を募集しています。

本誌では、セキュリティに関する読者の皆様のご意見やご提案を募集しています。セキュリティ機器やシステムを供給している側、セキュリティ・システムを既に導入あるいは導入を予定している側、いずれの側からの応募をお待ちしています。ただし、特定企業や団体または個人に対する誹謗中傷または批判的な内容をご遠慮ください。

一例を挙げると、導入する場合の手順はどのように進めれば良いのか。導入前の事前説明についてはどこに相談すべきなのか。メーカーなのか販売会社なのか、システム構築企業や設置施工企業なのか、それともセキュリティ・コンサルタント企業なのか。セキュリティに関する疑問や意見また提案など、セキュリティ関連であれば詳細は問いません。掲載する場合は匿名扱いとしますので、個人情報や漏洩することはありません。

なお、具体的な導入相談については、導入条件や環境についてできるだけ具体的な内容をご連絡ください。ご応募をお待ちしております。



a&s JAPAN編集部

TEL : 03-6206-0448

FAX : 03-6206-0452

MAIL : info@asj-corp.j

セキュリティ産業従事者向け  
欠かすことのできない  
専門情報はここにある

世界各地で発信

a&s Magazine各誌



a&s



**BOSCH**

Invented for life

# 人数カウントや動線解析をサポート インテリジェント12MPパノラマカメラ 屋内/屋外対応5MPパノラマカメラ



## ■屋内対応12MP 360°/180°パノラマネットワークカメラ



●**FLEXIDOME IP panoramic 7000 MP** (型番:NIN-70122-F0:360°)

●**FLEXIDOME IP panoramic 7000 MP** (型番:NIN-70122-F1:180°)

・最低照度(Lux): 360°:カラー0.55/白黒0.18、180°:カラー0.46/白黒0.15

・最大解像度: 2640×2640 (7MP:F0) 、 3648×2160 (8MP:F1)

・最大フレームレート:30 (12MP)

インテリジェントデフォグ

トラッキング

IK6

人数カウント

## ■屋内対応5MP 360°パノラマネットワークカメラ



●**FLEXIDOME IP panoramic 5000 MP** (型番:NUC-52051-F0)

・解像度: 1792×1792 (3.2MP)

・最低照度(Lux): カラー0.36/白黒0.12

・最大フレームレート:15 (5MP)

インテリジェントデフォグ

IK4

## ■屋外対応5MP 360°パノラマネットワークカメラ



●**FLEXIDOME IP panoramic 5000 MP** (型番:NUC-52051-F0E)

・解像度: 1792×1792 (3.2MP)

・最低照度(Lux): カラー0.36/白黒0.12

・最大フレームレート:15 (5MP)

インテリジェントデフォグ

IK10

IP66

● Boschセキュリティ製品に関するお問い合わせ先

**ボッシュセキュリティシステムズ株式会社**

〒100-0014 東京都千代田区永田町2-13-1 ボッシュビル赤坂9F

TEL.03-5485-4427 sales@boschsecurity-jp.net www.boschsecurity-jp.net